

HIKVISION EUI 2.0(Efficient User Interface) レコーダー操作簡易マニュアル

HIKVISION®

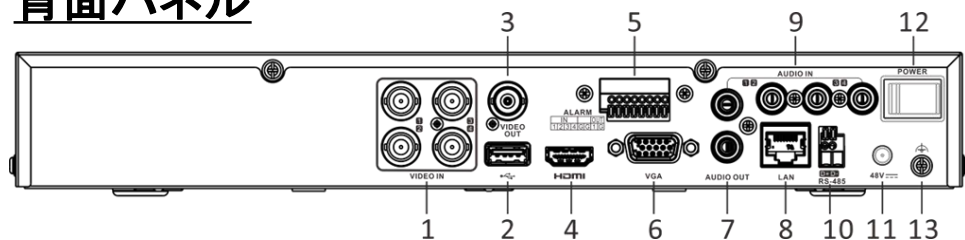


前面パネル



No.	名称	説明
1	Power	起動中は、ランプが緑色に光ります。
	Status	HDDの読み取りおよび書き込み中は、ランプが赤く点滅します。
	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能している場合、Tx / Rxランプが緑色に点滅します。
2	USB	USBポート

背面パネル



No.	名称	No.	名称
1	ビデオ入力	6	VGA出力
2	USBポート	7	オーディオ出力
3	ビデオ出力	8	LANポート
4	HDMI出力	9	オーディオ入力
5	アラーム端子	10	RS-485
11	電源差し込み口	12	電源スイッチ
13	GND		

画面操作はマウスを使って操作します。

左クリック	右クリック
決定、選択	キャンセル、スキップ



文字入力システムキーボードを使用しマウスで選択・入力を行います。



1. レコーダーのセットアップ

パスワード設定

レコーダーのパスワードをマウスとシステムキーボードを使用し入力します。

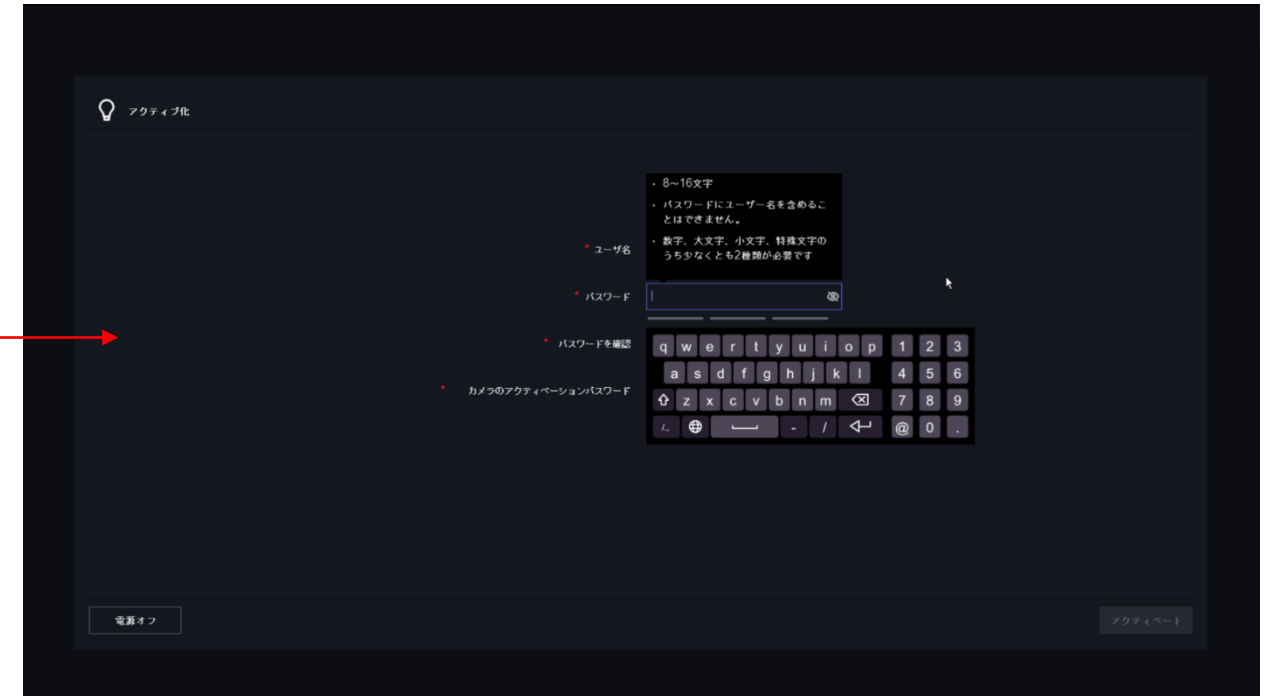
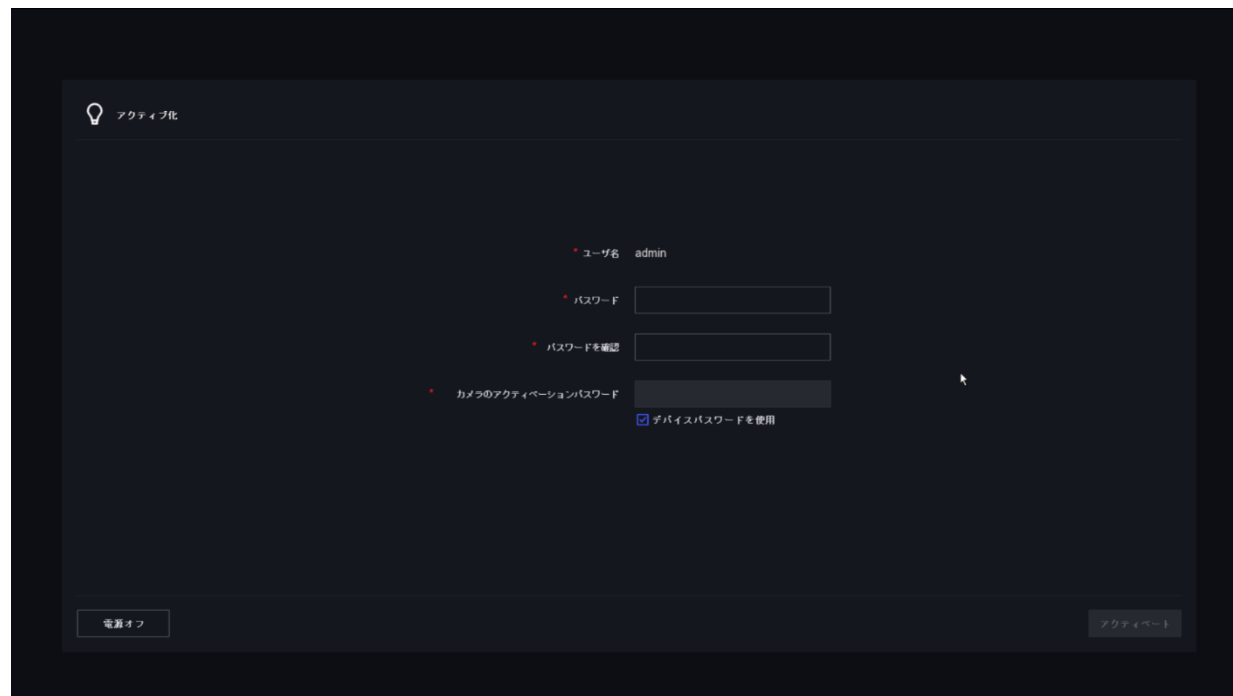
[パスワード変更]・[パスワードの確認]の箇所と同じパスワードを入力してください。(最低限、小文字と数字の8桁以上)

[カメラのアクティベーションパスワード]も同じパスワードを使用する場合は[デバイスパスワードを使用]にチェックを入れてください。

入力後は右下のアクティベートを左クリックしてレコーダーのパスワード設定を完了します。

※パスワードに[admin]の文字を使用することはできません。例:[admin123],[admin000]

※カメラのアクティベーションパスワードはパスワード未設定のIPカメラにレコーダーから自動で割り振られるパスワードとなります。

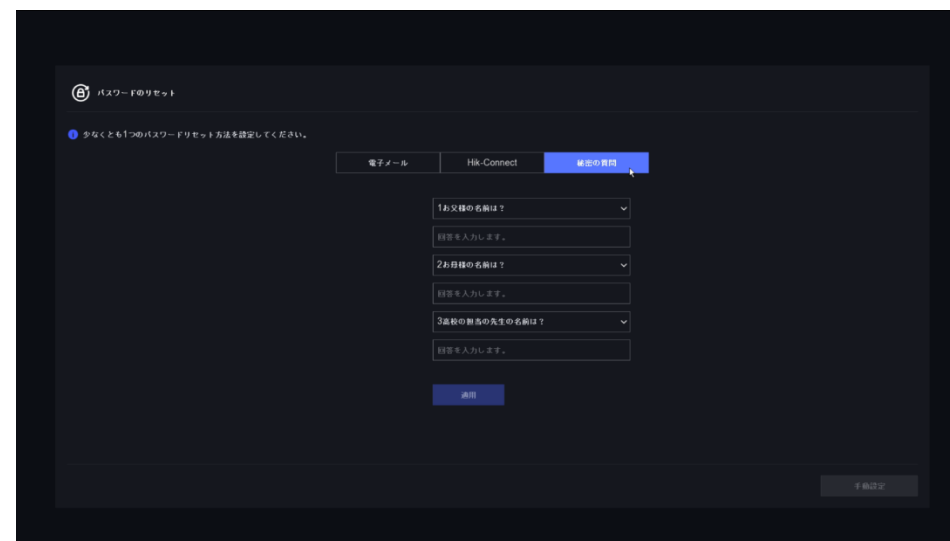
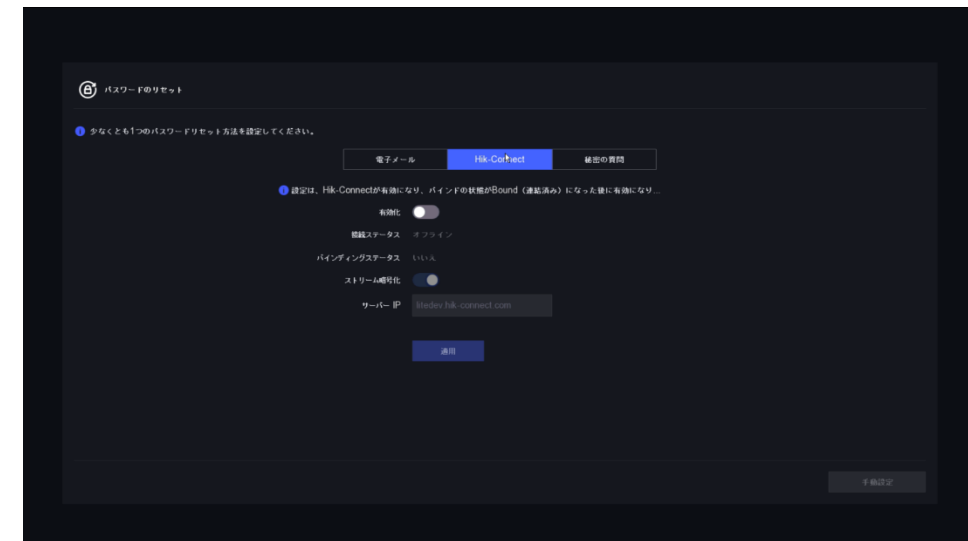
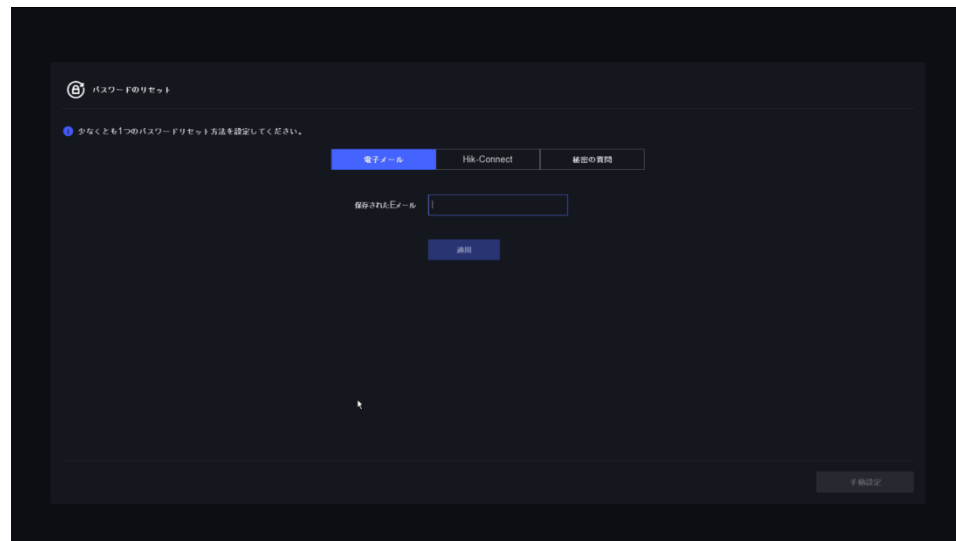


パスワードリセット方法の設定

レコーダーのパスワードを忘れてしまった場合にリセットする際の設定ができます。

【電子メール】【Hik-Connect】【秘密の質問】の3パターンから選択できますのでどれか一つを任意で設定してください。設定後、右下の手動設定を左クリックして完了します。

※【電子メール】【Hik-Connect】を選択、使用する場合にはネットワークへの接続、ネットワーク設定が必要となります。



解除パターン設定

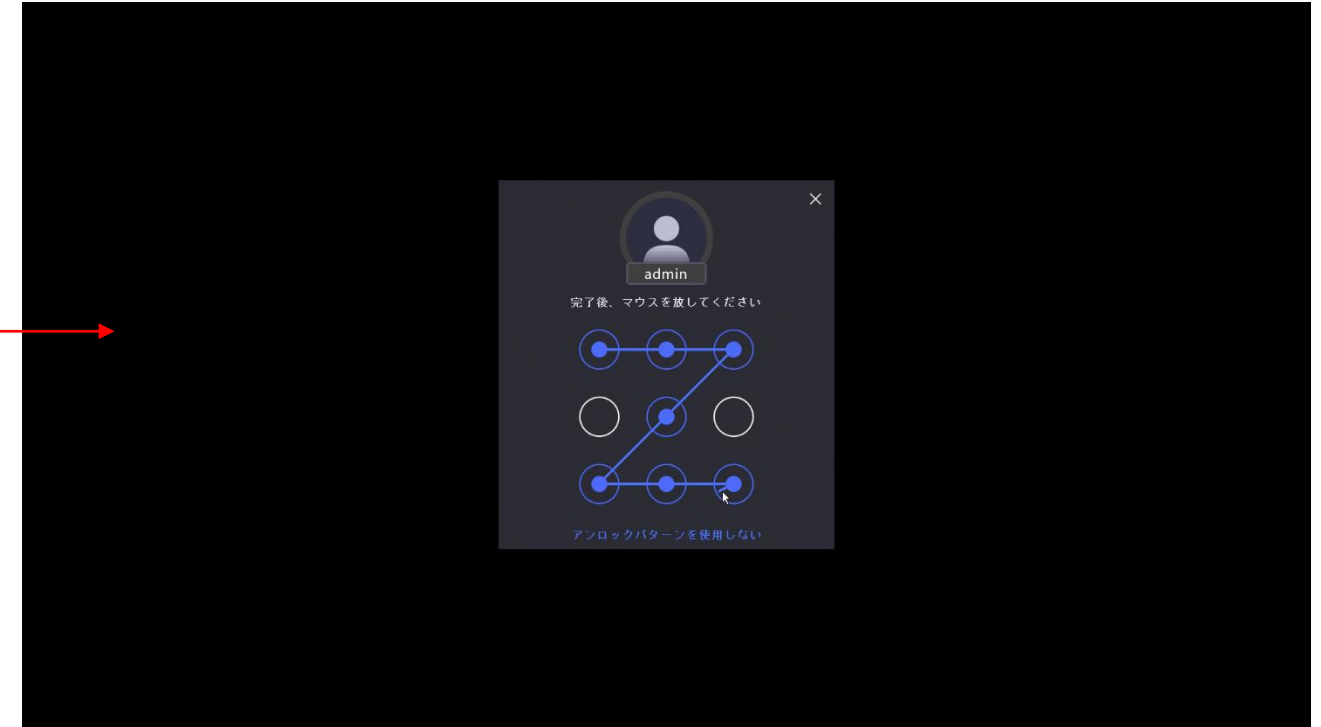
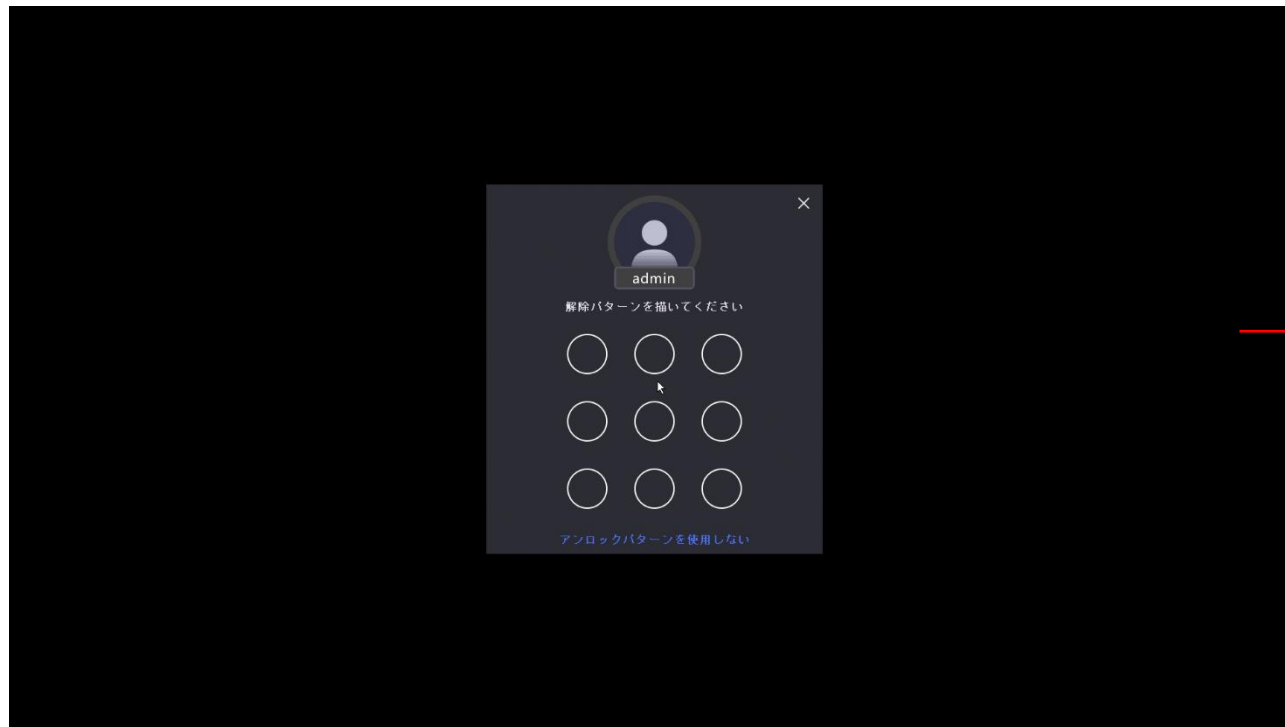
レコーダーのパスワードに加えてもう1つ追加で解除パターンを設定します。

マウス操作にて9つの○から4つ以上を選び一筆書きで○を結びます。

最初に解除パターンを設定した後、確認の為もう一度同じ解除パターンを描きます。(計2回)

※一筆書きとなりますので線を結び終わるまで、マウスの左クリック部分は離さないでください。

※右クリックで設定をスキップすることも可能です。



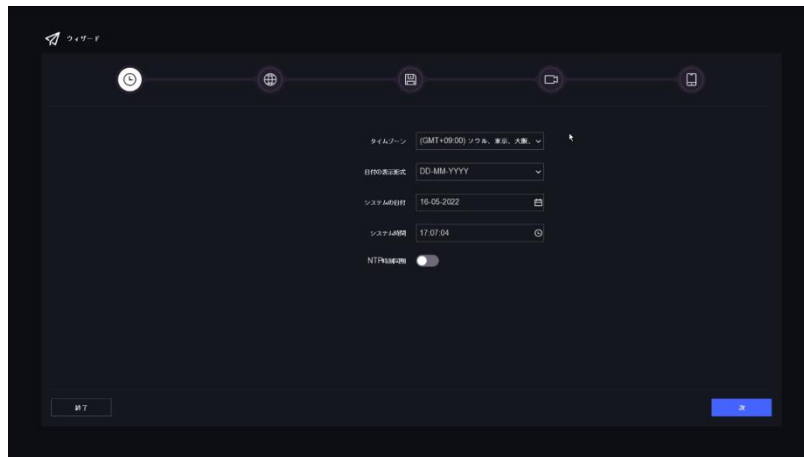
ウィザード

ウィザード画面にてレコーダーの簡易的な設定を予め設定することが可能です。

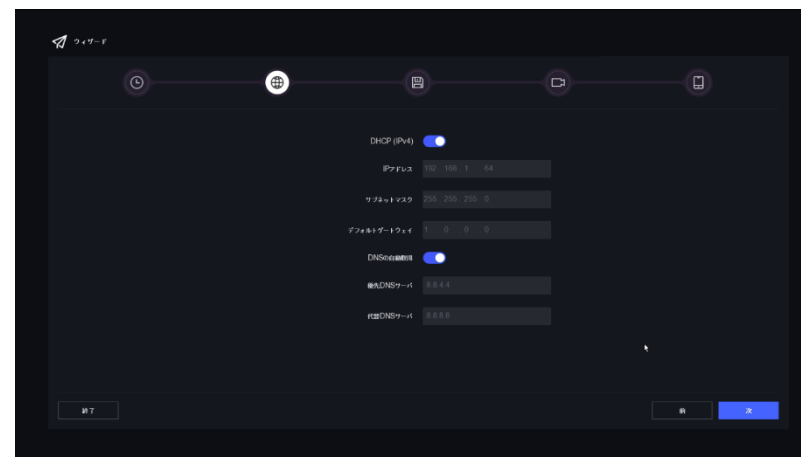
ウィザードにて設定する項目はセットアップ後にも設定することが可能です。

設定を開始する場合は次へを左クリックして設定を開始し、設定を行わない場合は終了を左クリックします。

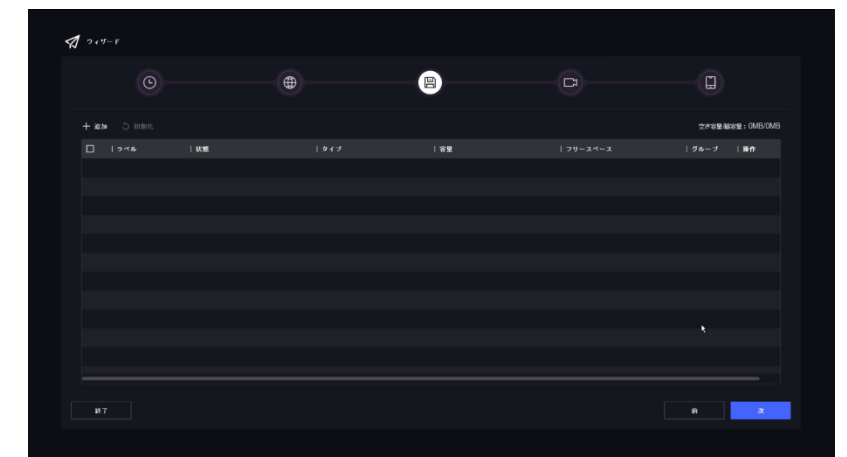
※本マニュアルではウィザードの設定は割愛させていただきます。



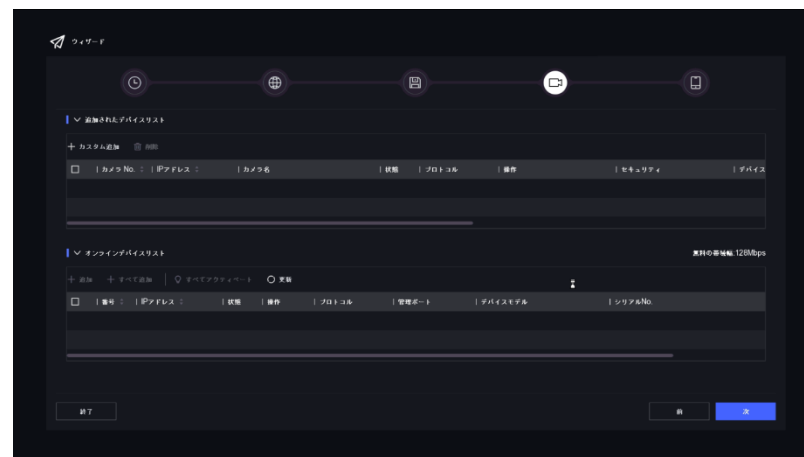
レコーダーの時刻設定は20ページ



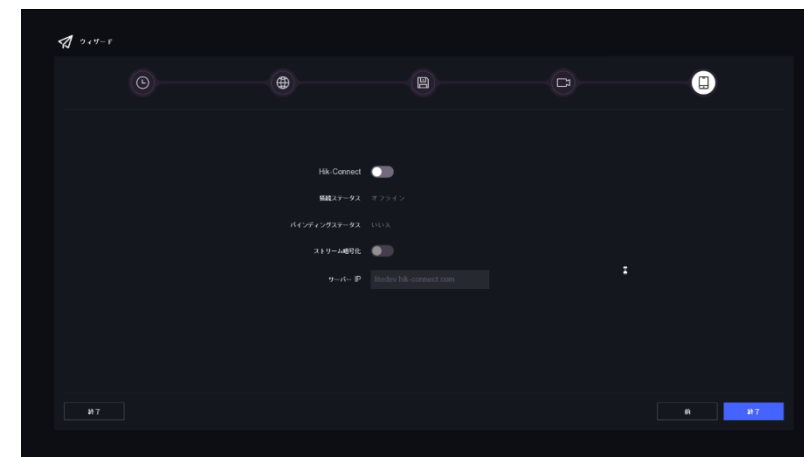
レコーダーのネットワーク設定は13ページ



HDDの設定は8ページ



IPカメラの登録設定は15ページ



Hik-Connect設定は37ページ

2.

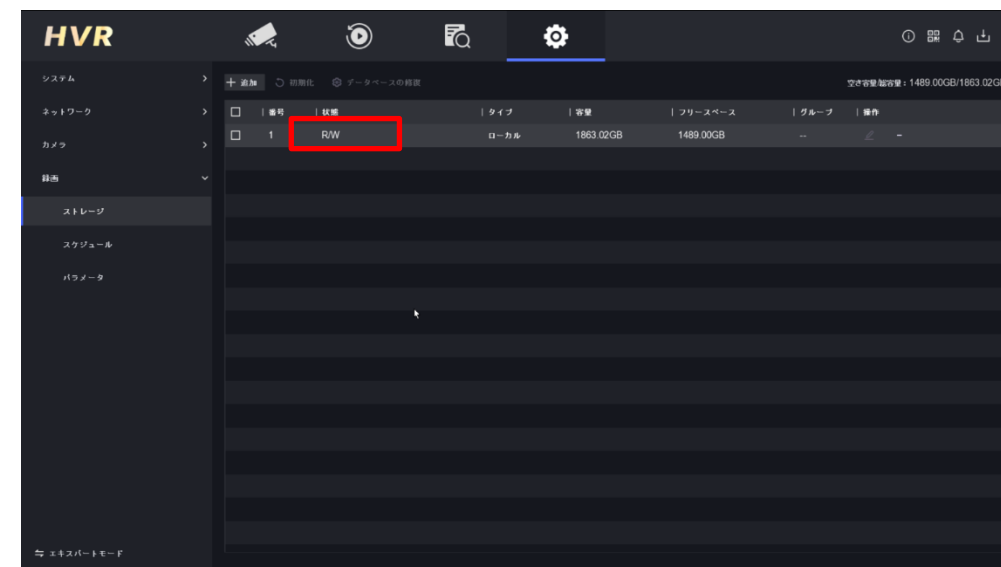
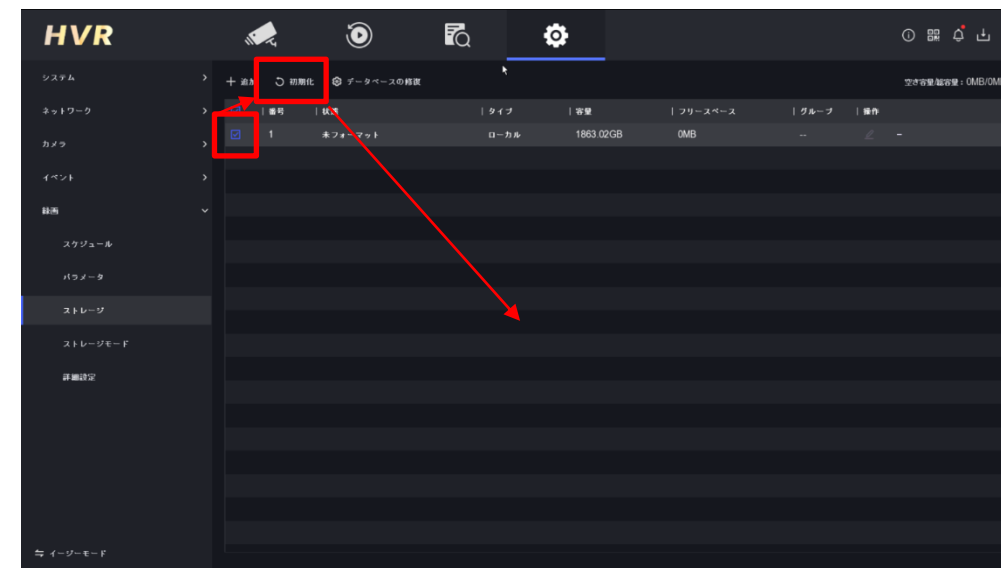
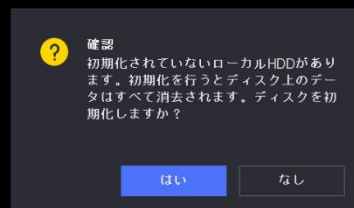
HDDの初期化

HDDの初期化

セットアップ完了後、HDD初期化のアナウンス画面が表示された場合、**[はい]**を左クリックしてHDD初期化画面へ進みます。

HDDの初期化を行うことでレコーダーの警告音を消すことが可能です。

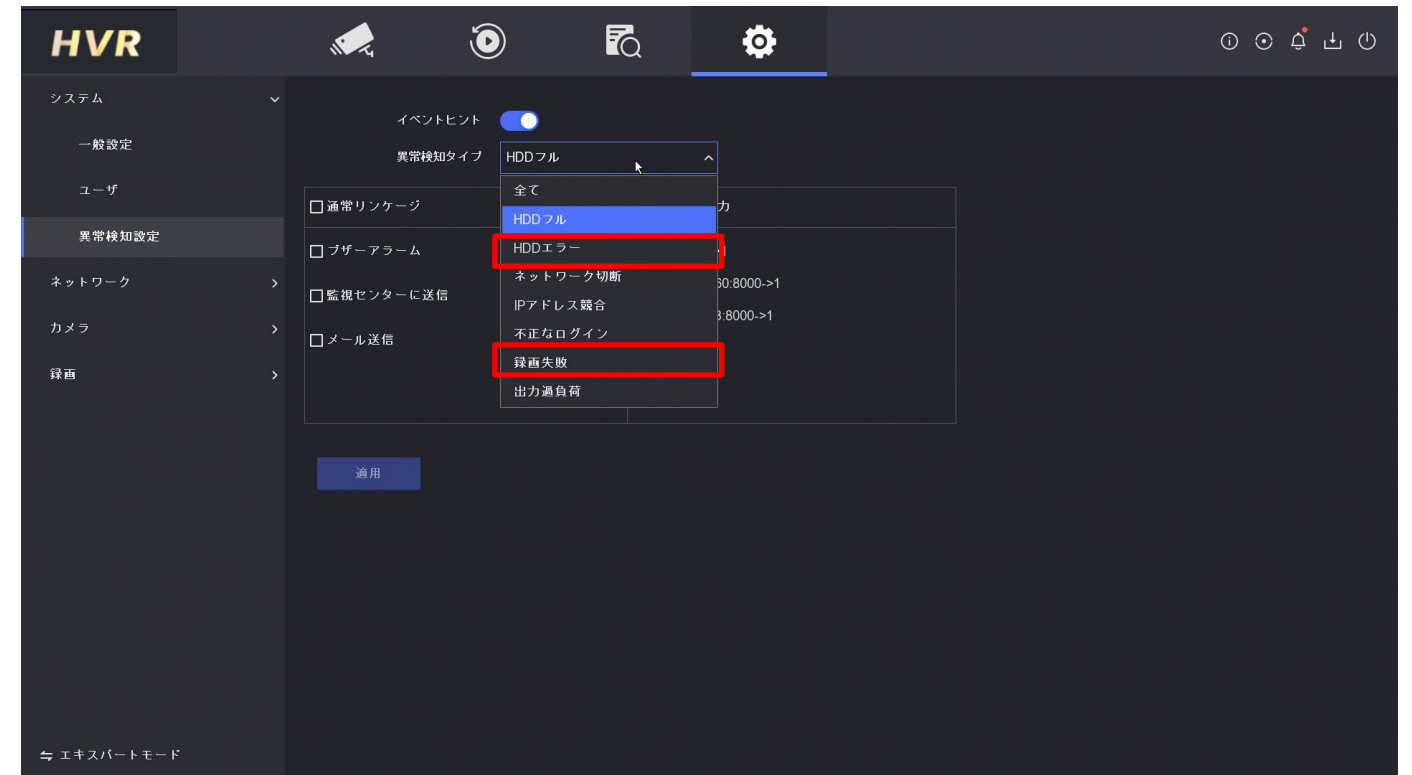
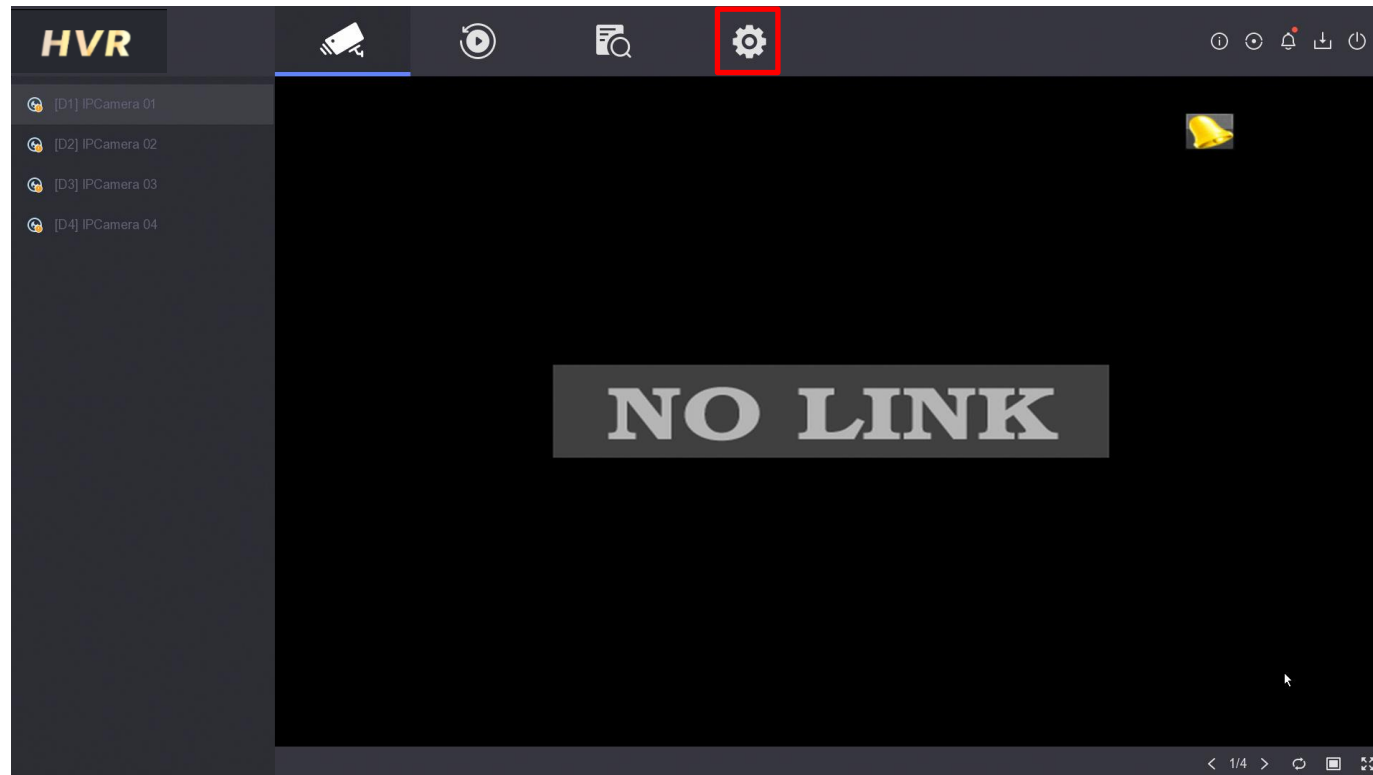
- 1.HDD設定画面へ移動後、接続されているHDDが表示されます。
状態が**[未フォーマット]**の場合、チェックボックスにチェックを入れて**[初期化]**を左クリックします。
 - 2.初期化アナウンスが表示されますので**[はい]**を左クリックします。
 - 3.初期化後ステータスが「**R/W**」になれば初期化完了です。
- ※未初期化のHDD搭載時、下図の表示があります。



HDD非搭載レコーダーの警告音の消し方について

HDD非搭載のレコーダはHDDの認識ができずレコーダーから警告音が鳴っています。
この場合はレコーダーの設定で警告音を消すことができます。

- 1.レコーダーのライブビュー画面で右クリックし、上部ツールバーからシステムにアクセスします。
※システムにアクセスする際にレコーダーのパスワードを要求される場合があります。
- 2.システム>異常検知設定にアクセスし、異常検知タイプを左クリックしてドロップダウンリストから[HDDエラー]を選択し、ブザーアラームのチェックボックスからチェックを外します。
- 3.再度異常検知タイプをクリックして[録画失敗]を選択し、ブザーアラームのチェックを外します。
- 4.最後に適用を左クリックして設定を保存します。

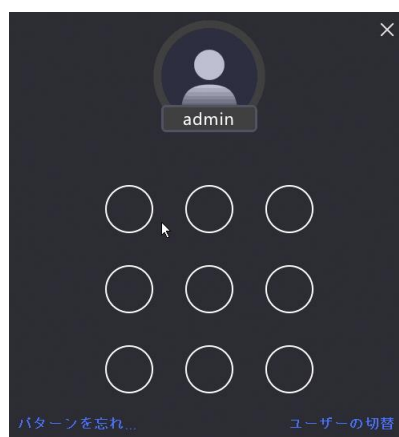
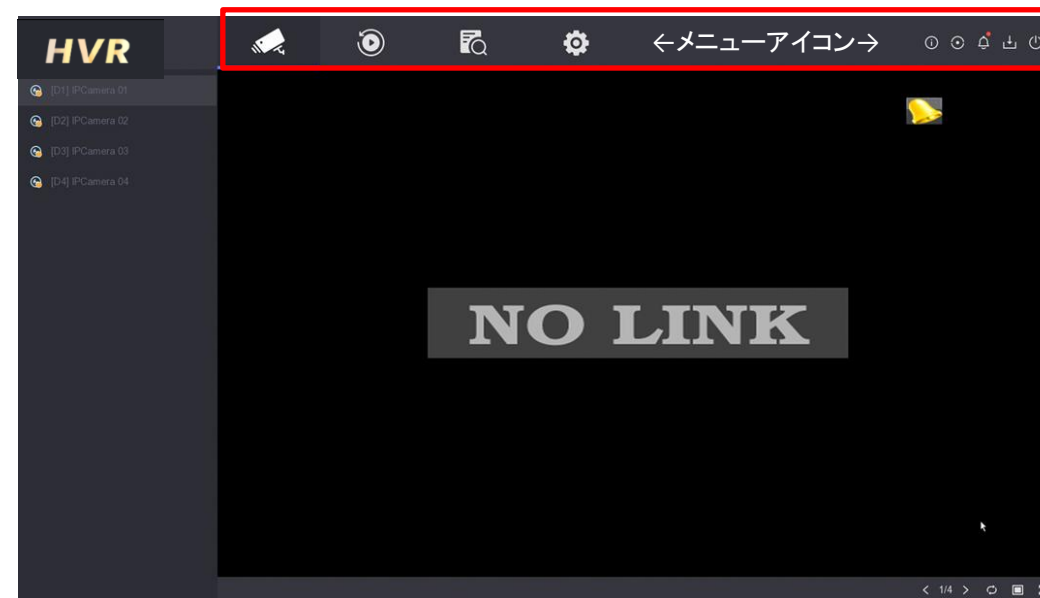


3.

メニューの表示

メニューへのアクセス手順

メニュー画面を表示させて再生やレコーダーの設定画面へアクセスすることが可能です。
 ライブビュー画面にて右クリックし、メニューを表示します。
 右クリック後、レコーダーのパスワード入力を要求されます場合があります。
 パスワードの要求があった場合はセットアップ時に設定したパスワードを使用して解除します。
 パスワード入力後はライブビュー上部にメニューが表示されます。



パスワード・解除パターンを入力画面

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビュー		メンテナンス・デバイス情報他
	録画再生		Hik-Connect用QRコード
	録画検索・録画データ書出し		アラーム・イベント情報
	システム設定		最新ファームウェアの確認
			ログアウト・再起動・電源OFF


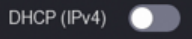
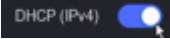
4.

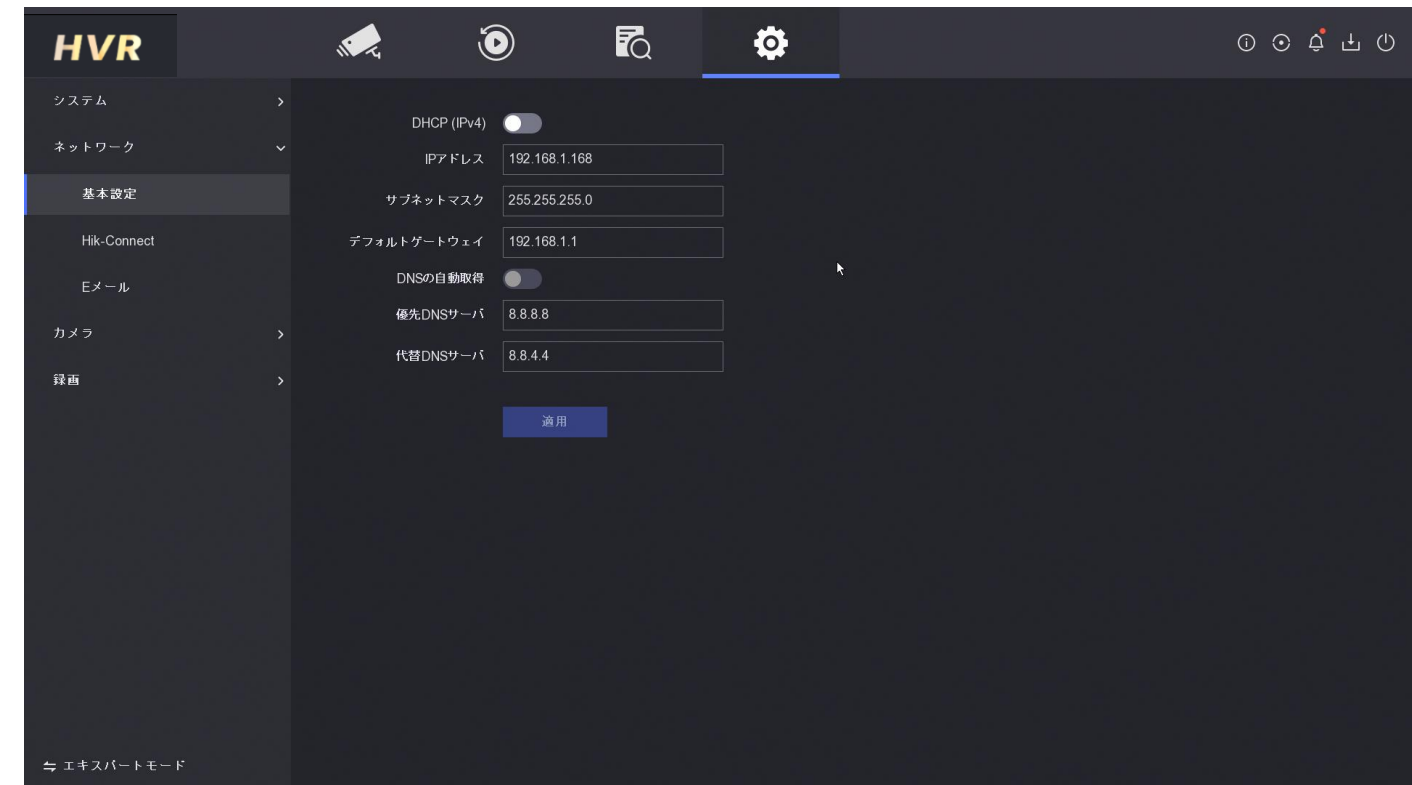
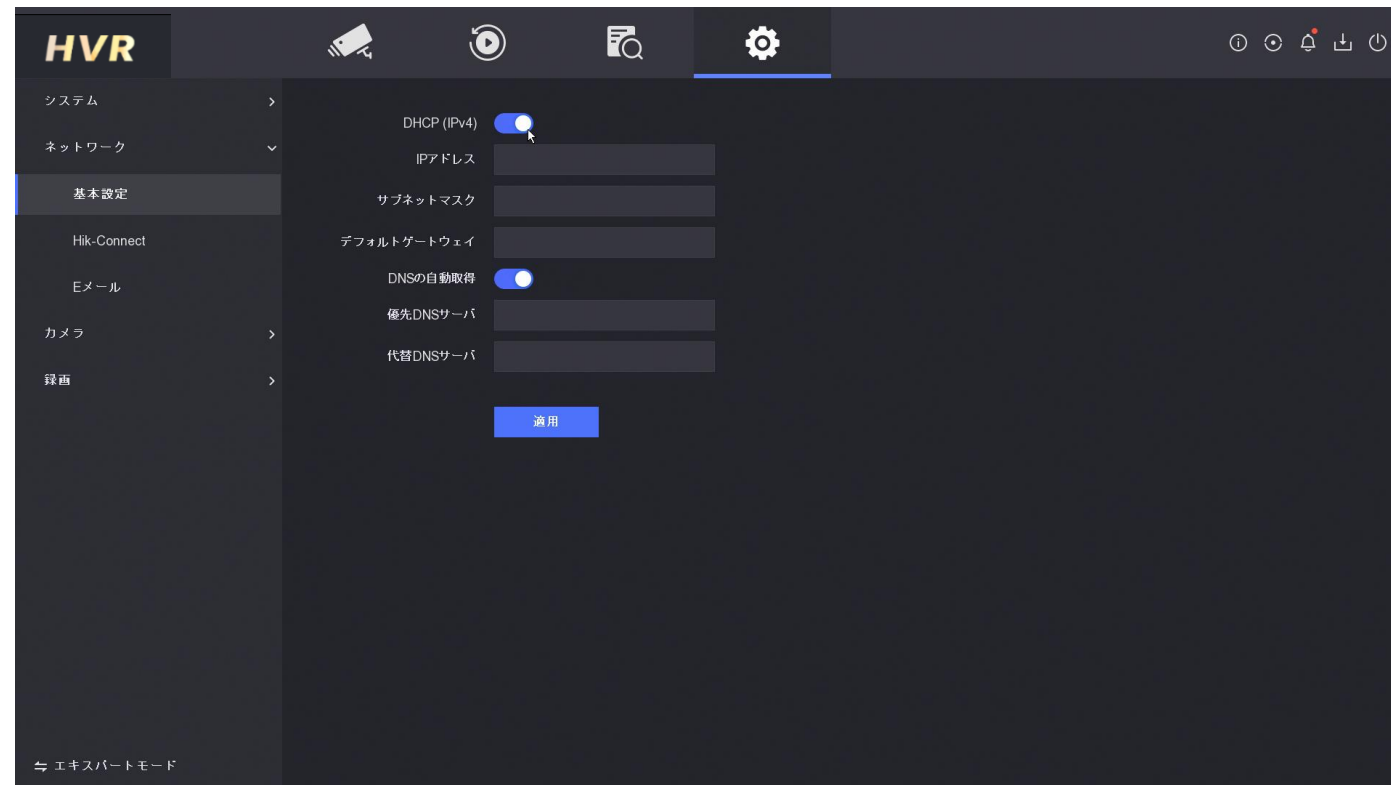
ネットワーク設定

IPアドレス変更

レコーダー本体のネットワーク設定を行います。

IPカメラをIP登録する場合やHik-Connectサービスを利用する時に必要な設定となります。

- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>ネットワーク>基本設定にアクセスします。
- 2.IPアドレスを固定する場合は、 DHCPを無効に、自動取得する場合は  DHCPを有効に切り替えます。
- 3.[適用]を左クリックして設定を保存します。




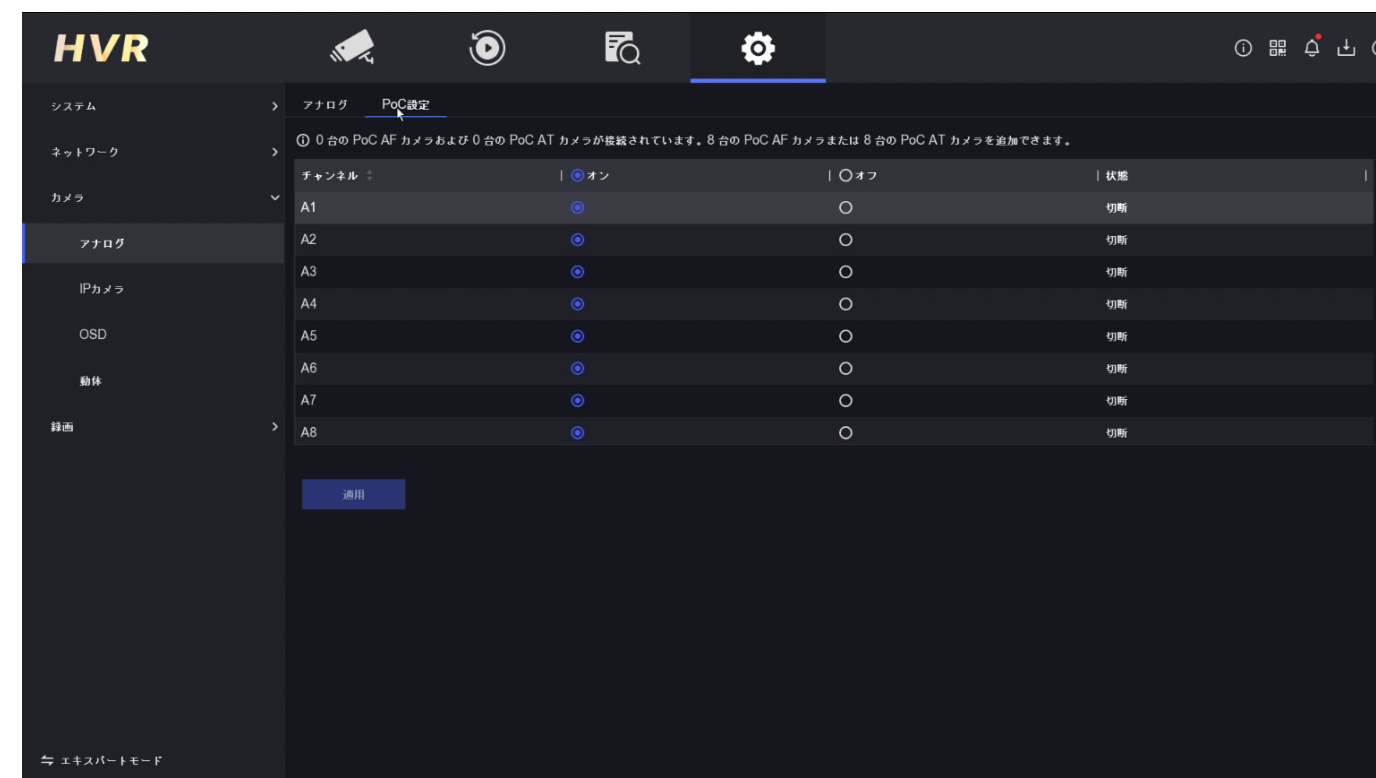
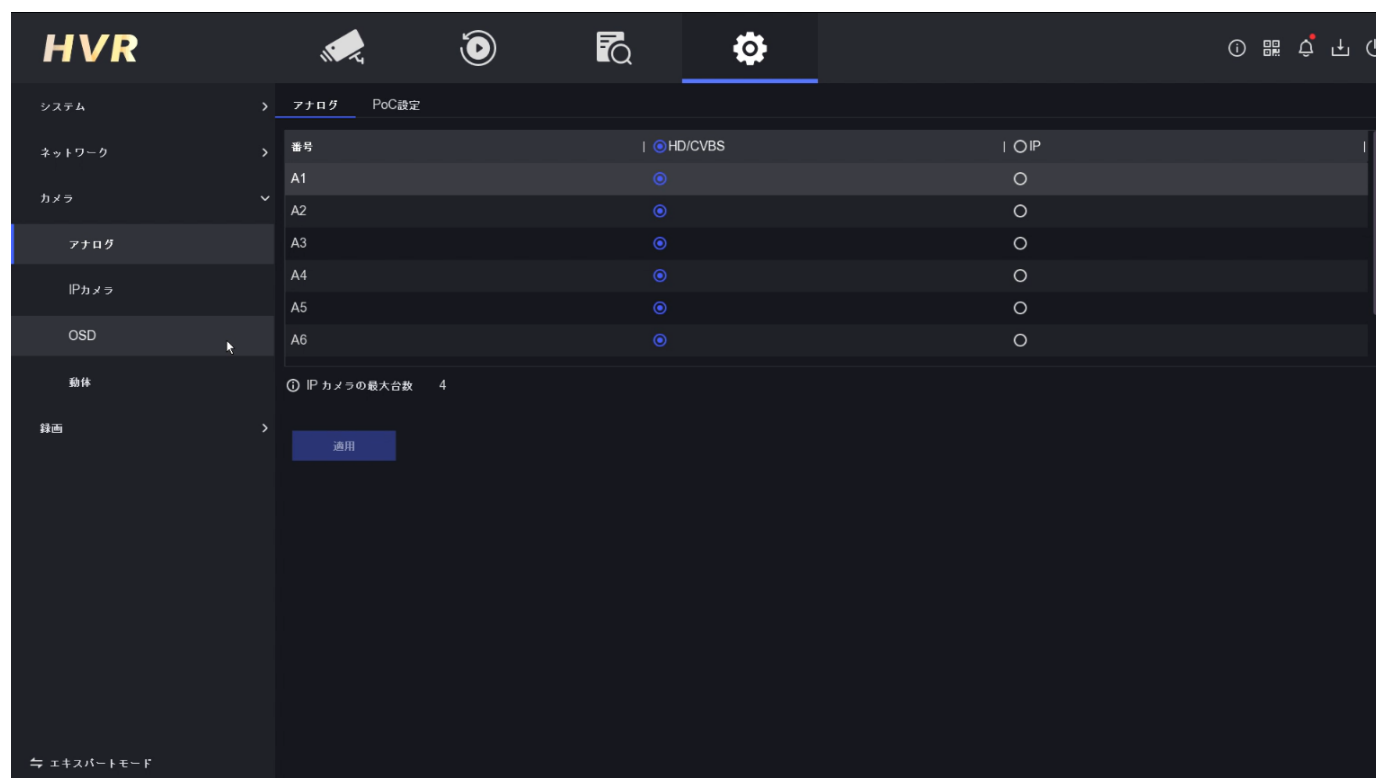
5.

アナログカメラ設定

アナログカメラ設定

レコーダー本体にIPカメラのIPアドレスを登録して接続します。

- 1.メニューから  を左クリックして設定>カメラ>アナログカメラにアクセスします。
- 2.アナログタブを左クリックするとチャンネル毎にHD/CVBS⇔IPの入力信号切替設定ができます。
- 3.[適用]を左クリックして設定を保存します。
- 4.PoC内蔵レコーダーの場合PoC設定タブを左クリックするとチャンネル毎にPoC機能の切り替え設定ができます。
- 5.カメラ毎に接続台数が変わってきますので次ページを参考に接続を行ってください。
- 6.[適用]を左クリックして設定を保存します。



PoC設定

レコーダー毎のPoC接続台数は下記表を参考に接続してください。

PoC AF 6Wクラス

PoC AT 10Wクラス

※PoEのIEEE802.3とは関係ありません

4CH PoCレコーダー 全チャンネルATカメラ可能

8CH PoCレコーダー 全チャンネルATカメラ可能

16CH PoCレコーダー 下記表のとおり





AFカメラ数	0	2	4	6	8台以上全チャンネル可能
ATカメラ数	12	11	10	9	8台以下全チャンネル可能
合計台数	12	13	14	15	16

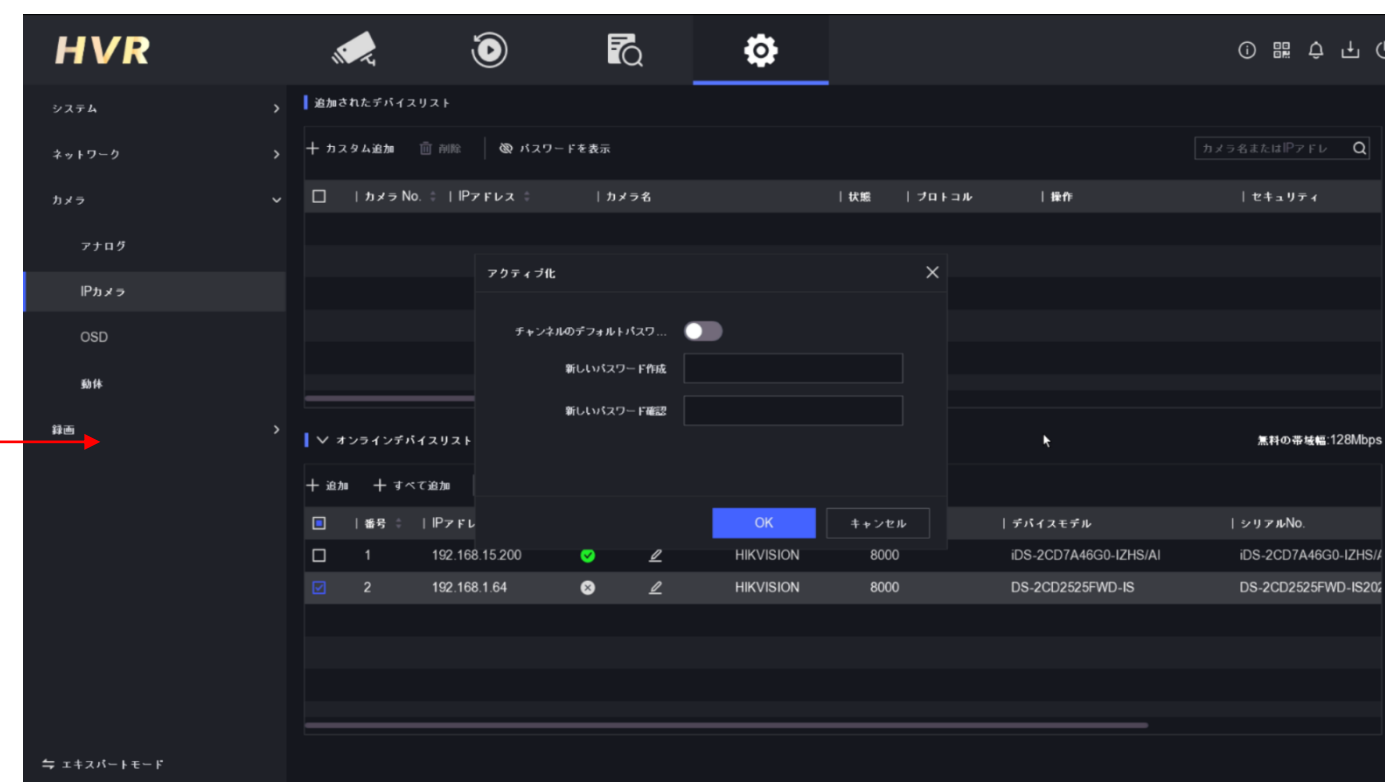
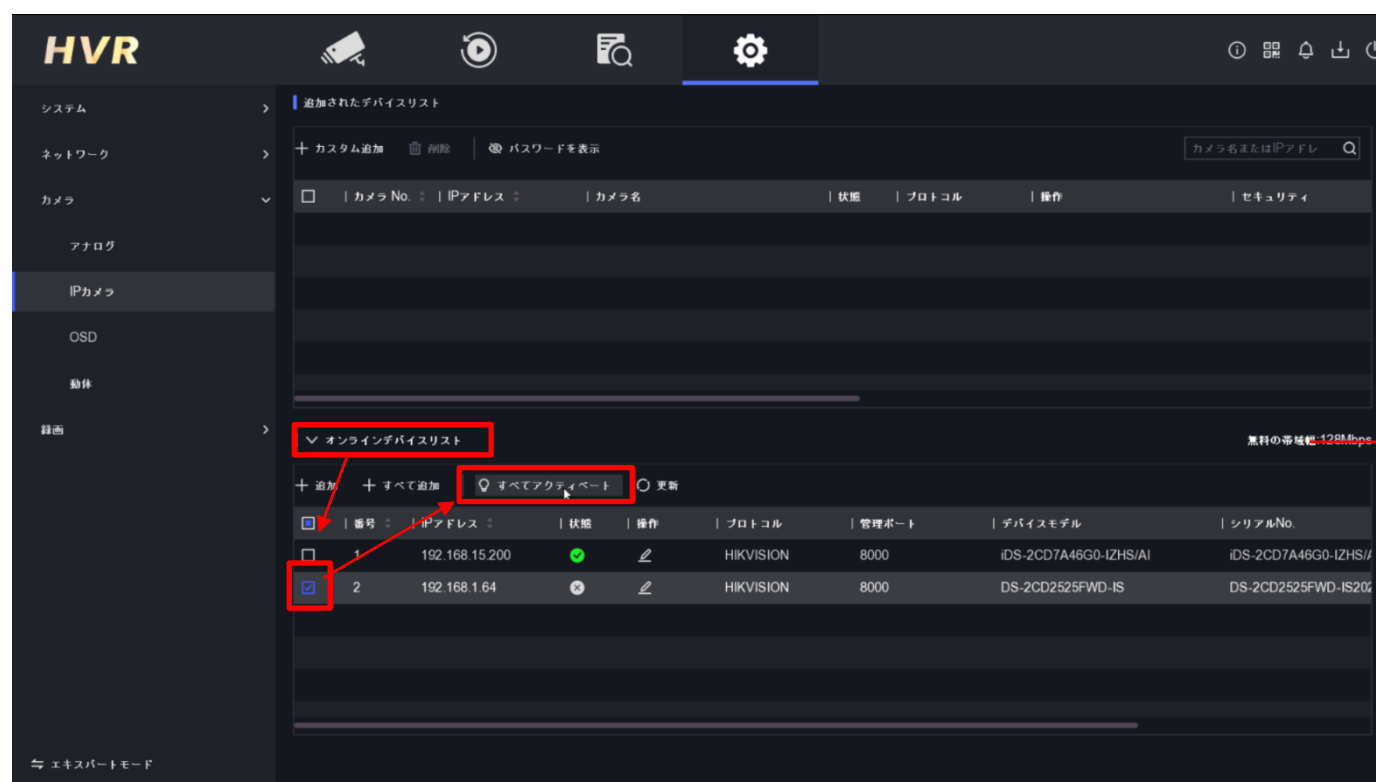
6.

IPカメラ登録

IP登録


レコーダー本体にIPカメラのIPアドレスを登録して接続します。

- 1.メニューから  を左クリックして設定>カメラ>IPカメラにアクセスします。
- 2.オンラインデバイスリストを左クリックしてIPカメラ一覧を表示し、IPカメラのIPアドレスを確認します。
- 3.カメラのステータスが  となっている場合はカメラのパスワードを設定する必要があります。
- 4.パスワードを設定する場合は、カメラのチェックボックスにチェックを入れて[すべてアクティベート]を左クリックします。
- 5.レコーダーのパスワードを反映させる場合は[チャンネルのデフォルトパスワ...]を有効にします。
任意のパスワードに設定する場合は、パスワードを2箇所入力し[OK]を左クリックして設定を保存します。
- 6.カメラのステータスが  から  に変われば設定完了です。



IP登録

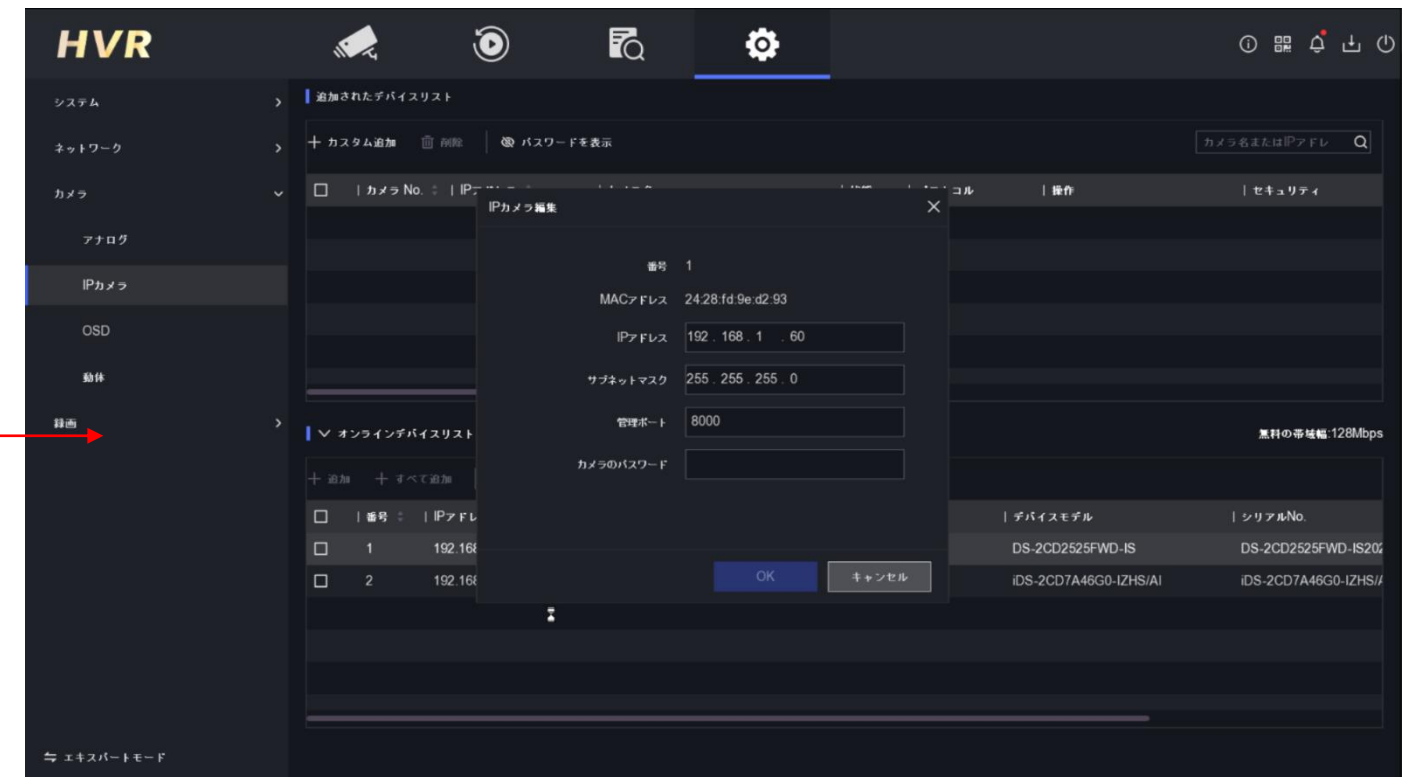
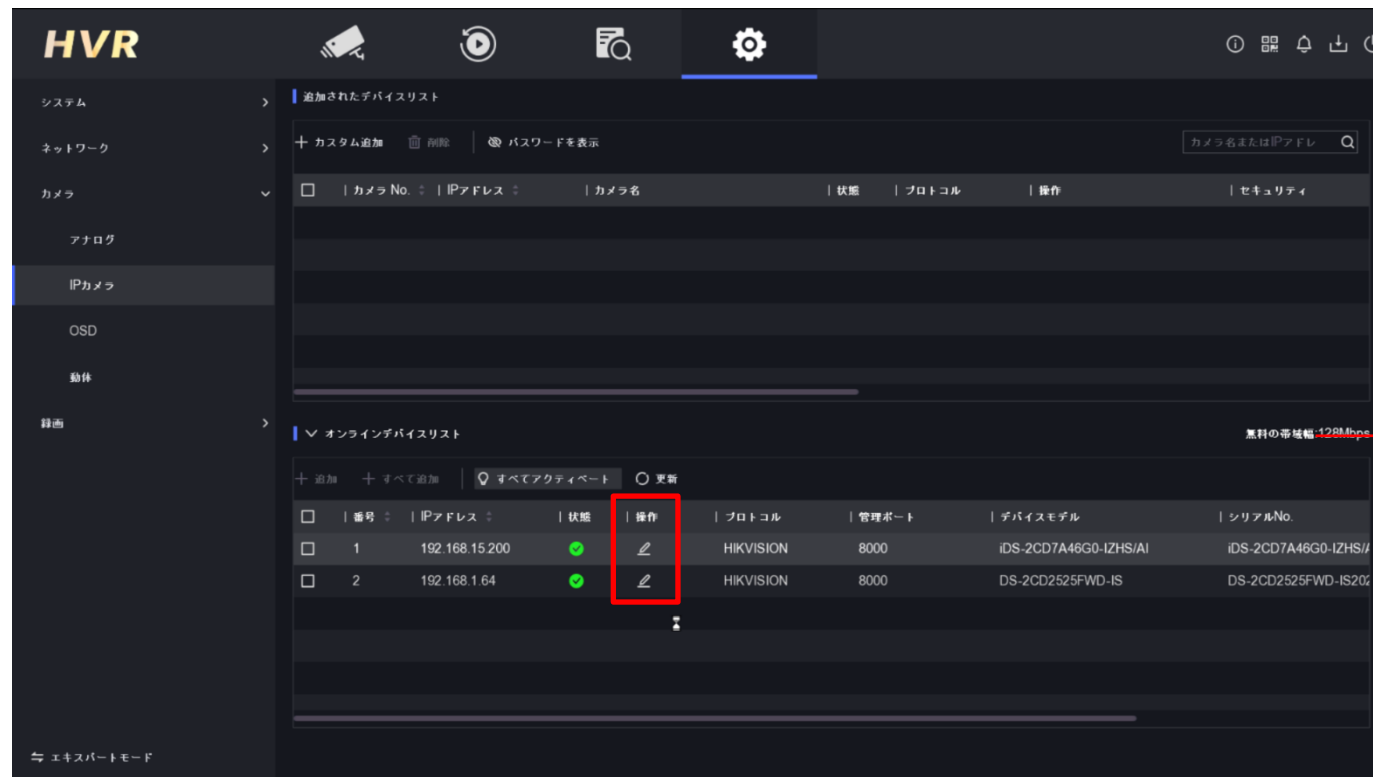
7.複数台のIPカメラが存在している場合、IPカメラ同士でIPアドレスが競合した状態になります。

そこでIPカメラのIPアドレスを変更します。オンラインデバイスリストから  を左クリックして編集画面へアクセスします。



8.IPカメラ編集画面から[IPアドレス]にてIPアドレスを任意のアドレスに変更します。

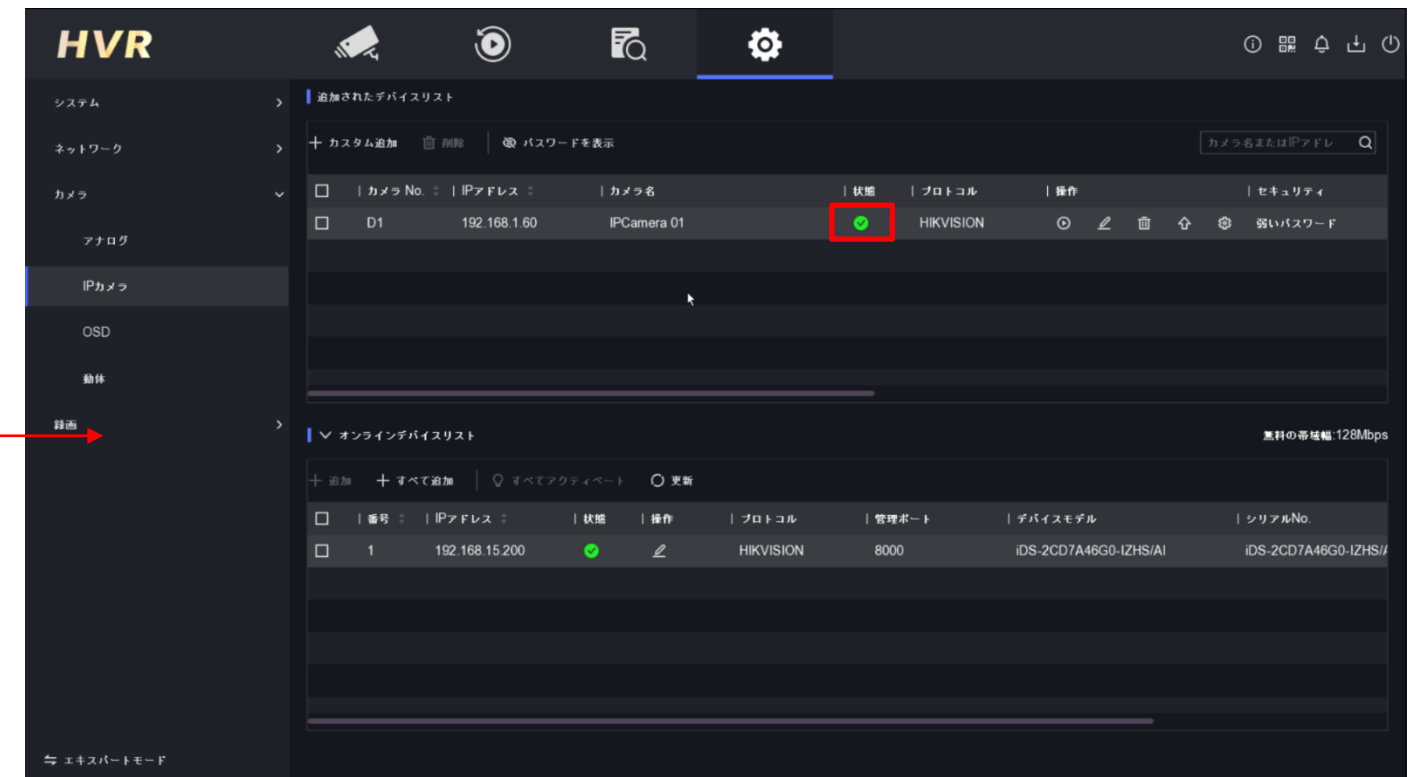
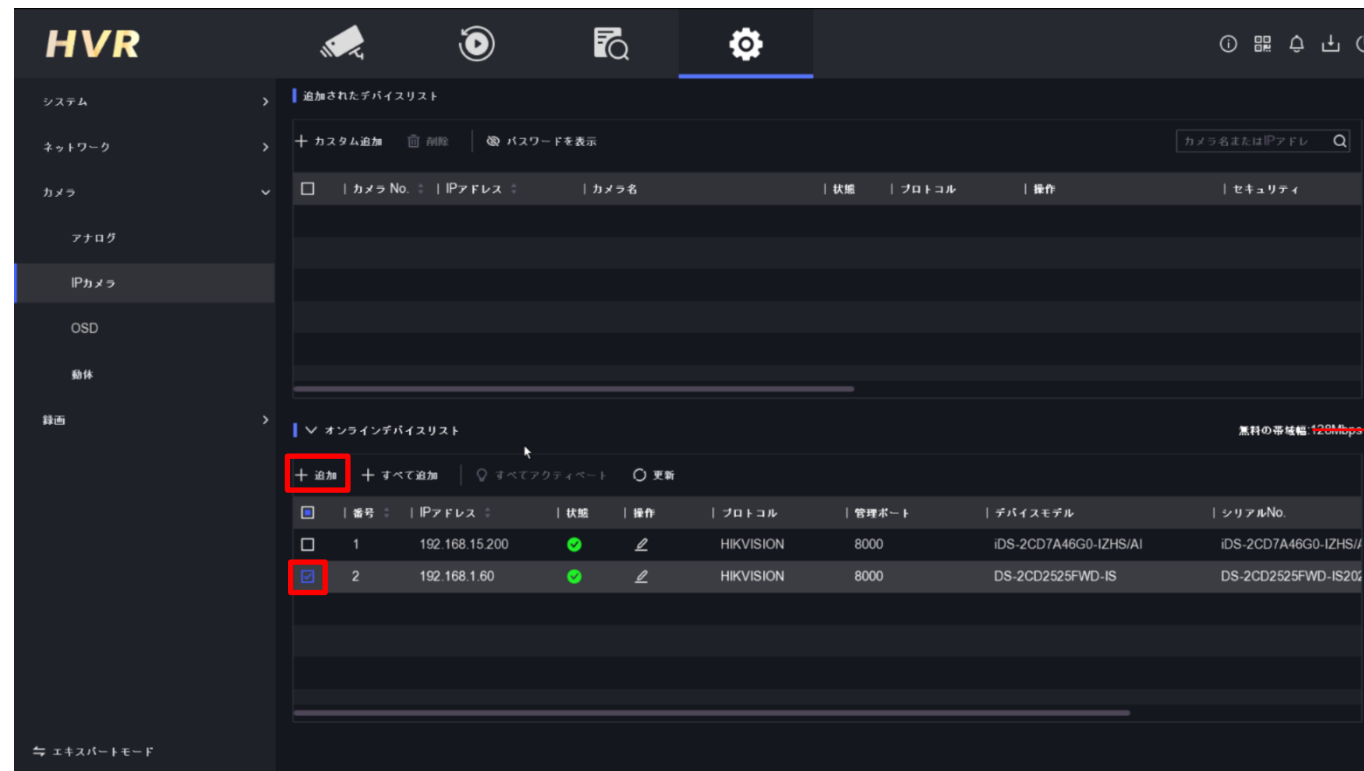
9.[カメラのパスワード]にカメラのパスワードを入力して、最後に[OK]を左クリックして設定を保存します。

10.オンラインデバイスリストからIPアドレスは変更されているか確認してください。



IP登録

11. オンラインデバイスリストから追加したいカメラにチェックを入れ[追加]をクリックすると上部デバイスリストに追加できます。
12. 上部デバイスリストのカスタム追加からもカメラの追加が可能です。
13. ステータスが  から  に変われば登録完了です。




7.

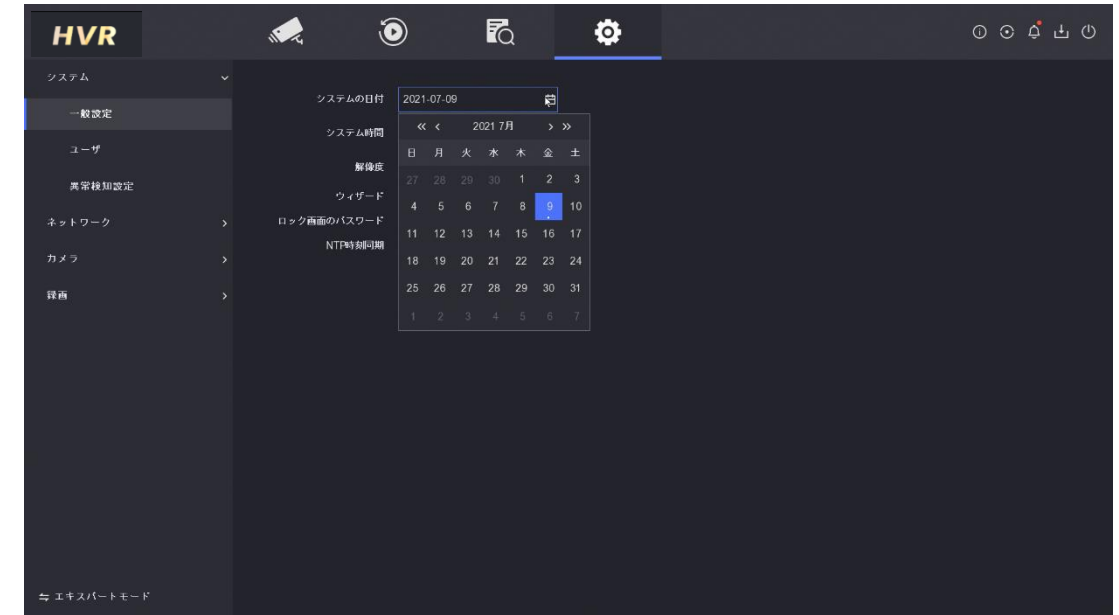
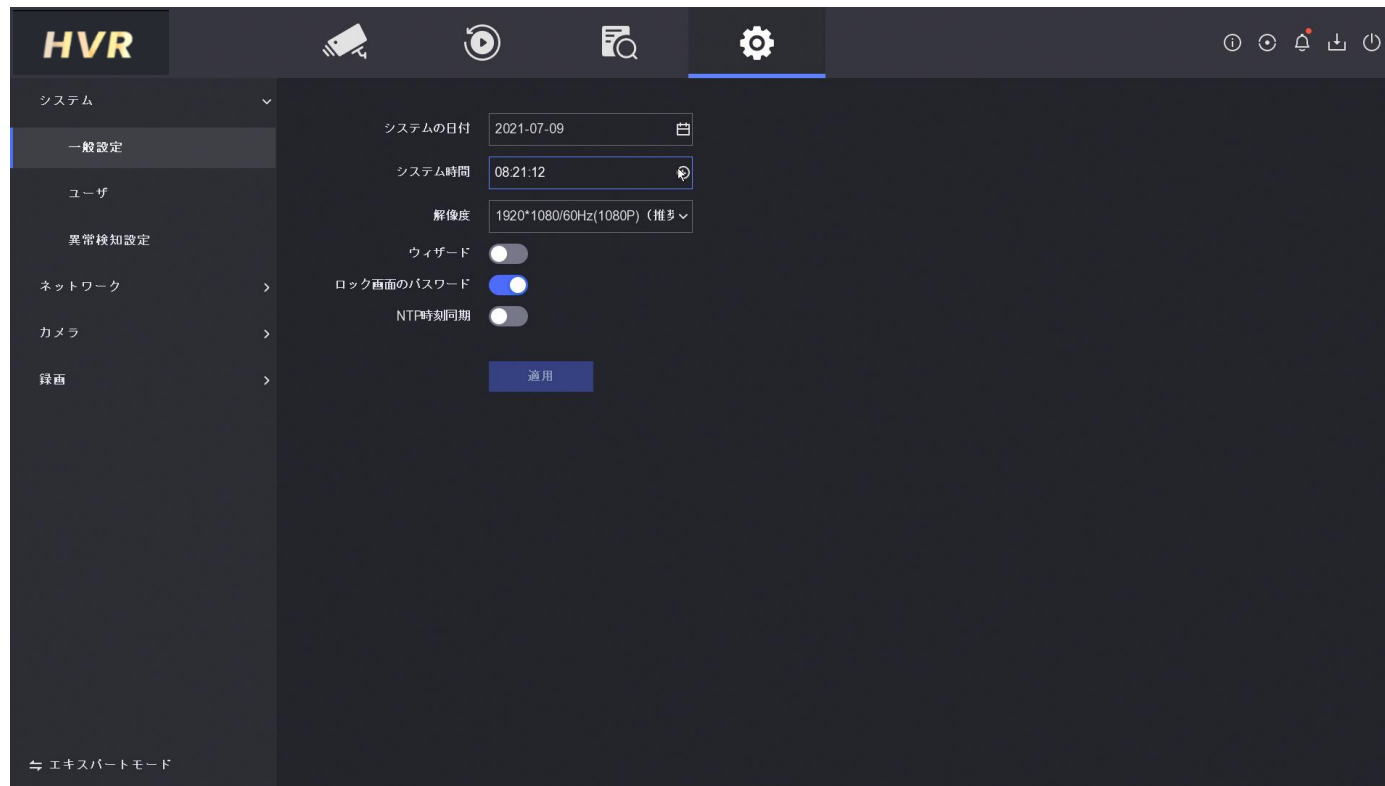
時刻設定

日付・時間設定

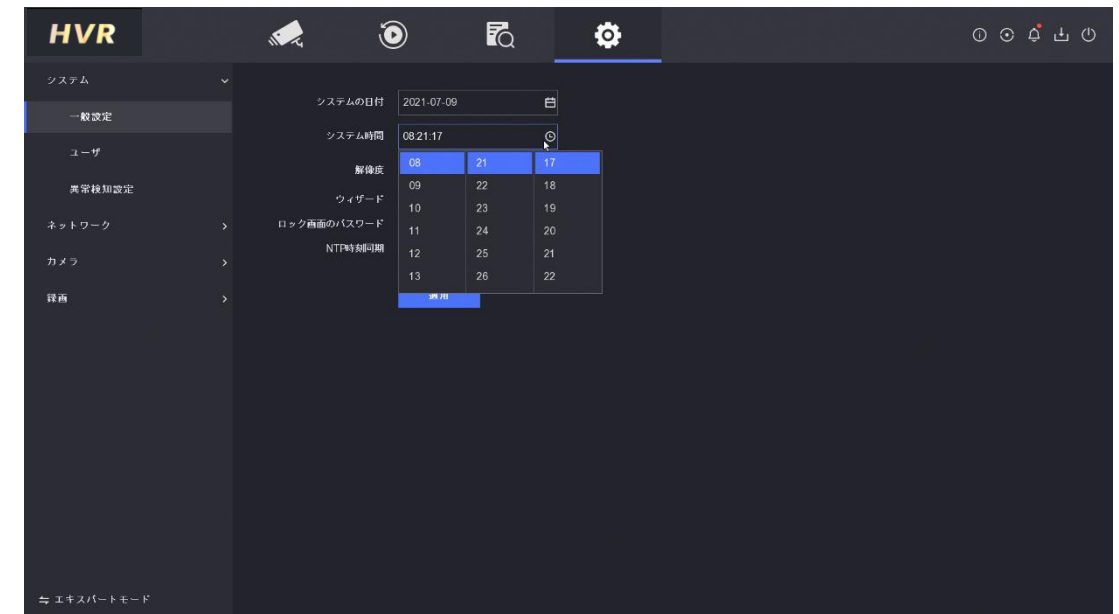
レコーダーの日付・時間を設定します。

日付・時間は録画する映像に影響しますので正しく設定してください。

- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>一般設定にアクセスします。
- 2.[システム日付]を左クリックして年月日をカレンダーから設定します。
- 3.[システム時間]を左クリックして時間の設定をします。



日付の変更設定



時間変更設定

8.

ライブビュー

ライブビューアイコンの説明

各アイコンは表にて説明します。

※ライブビュー下部のツールバーはライブビュー上で左クリックすると表示されます。

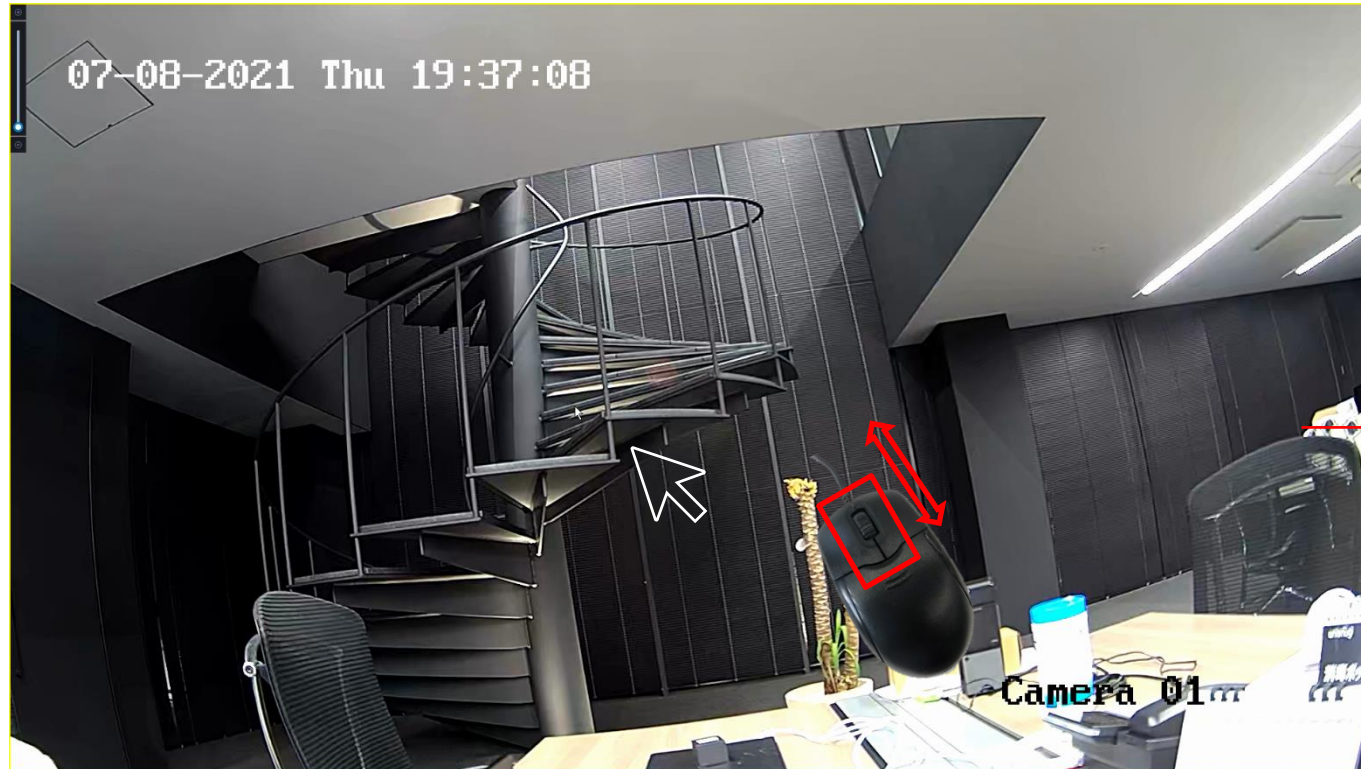


アイコン	説明
	イベント発生時にアイコンが表示されます(通常イベントとスマートイベント)
	録画中アイコン※アイコンを非表示にするはできません。
	最新の5分以内に録画した動画の再生を開始します。
	デジタルズームを開始します。(映像の拡大)
	PTZ(パン・チルト・ズーム)を開始します。
	音声の有効/無効の切り替えを行います。
	メイン/サブストリームの切り替えを行います。
	前のページ・次のページ カメラの映像切り替えを行います。
	カメラ映像の自動切り替え開始・停止をします。
	画面分割の切り替えを行います。
	フルスクリーンの開始・終了を行います。

デジタルズーム

デジタルズームにより映像を拡大して見ることができます。







- 1.ライブビュー下部のツールバーから🔍を左クリックしてデジタルズームを開始します。
- 2.拡大を行う箇所にマウスカーソルを合わせて、マウスホイールを動かしてズームを行います。
- 3.デジタルズームを終了する場合は右クリックして終了してください。

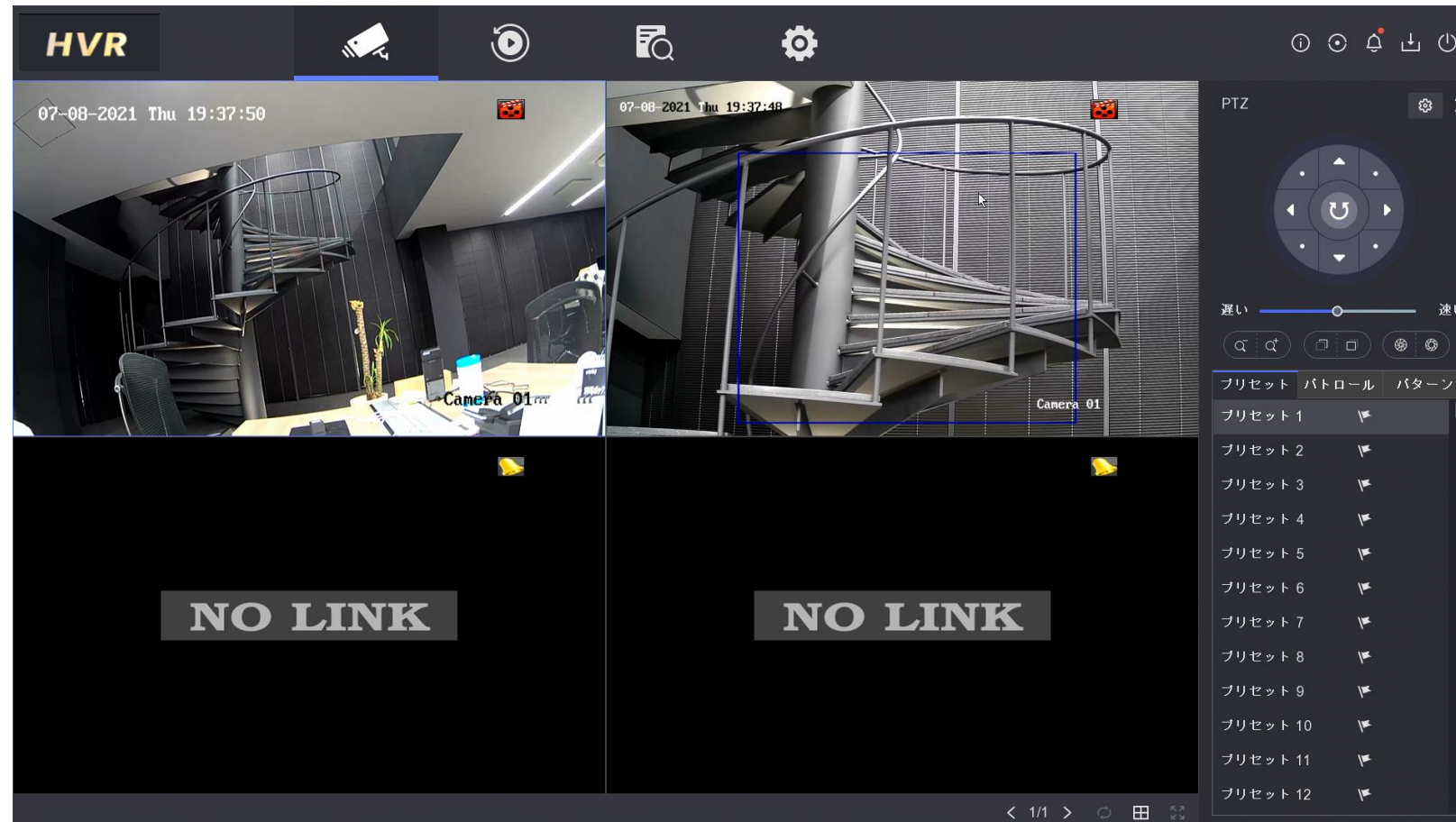


PTZコントロール

カメラにてパン・チルト・ズームを行います。

※パン・チルト・ズームそれぞれはカメラで機能に対応している必要があります。

1. ライブビュー下部のツールバーから  を左クリックしてPTZコントロールを開始します。
2. パン・チルトを行う場合は  方向ボタンを左クリックして操作を実行します。
ズームを行う場合は  /  ズームイン・ズームアウトを左クリックして操作を実行します。
フォーカスは  /  をクリックして調整を行います。




9.

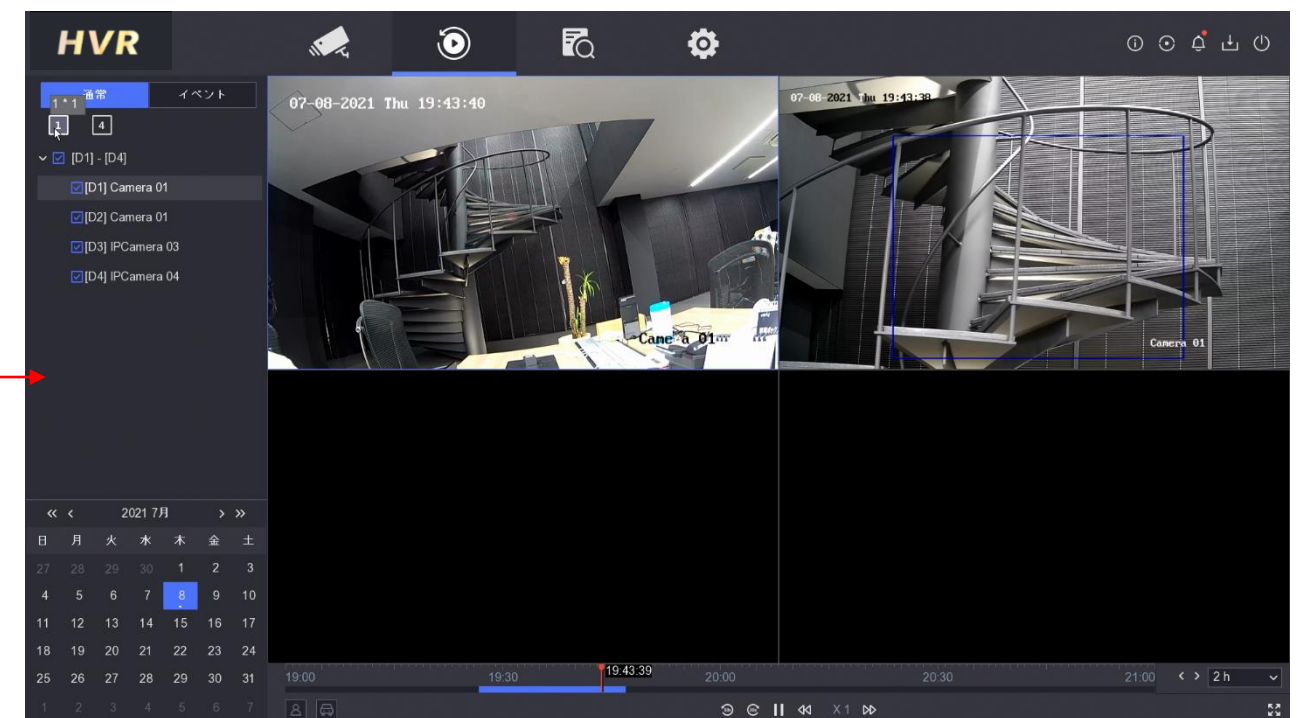
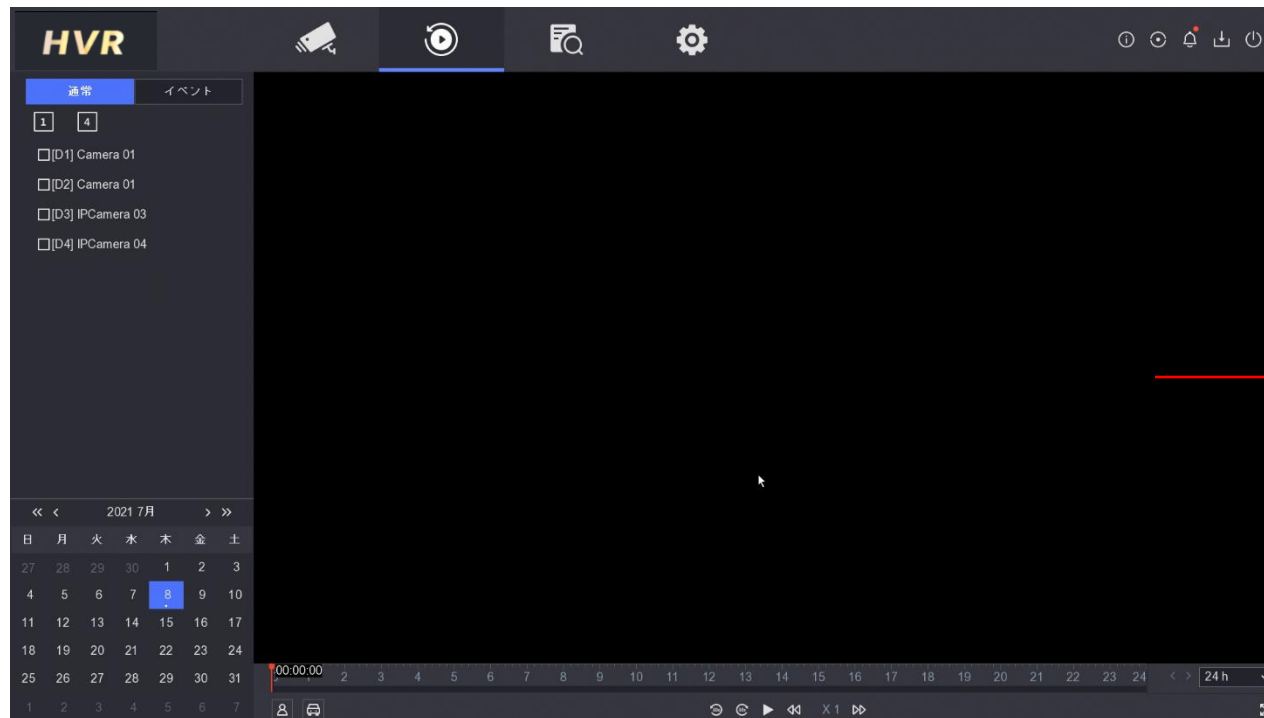
録画再生




再生開始

HDDに記録された録画映像を再生します。

※再生を行うにはレコーダーにHDDが搭載されている必要があります。


- 1.メニューから  を左クリックして再生にアクセスします。
- 2.左のカメラリストから再生を行うカメラのチェックボックスにチェックを入れて再生を開始します。
- 3.日付を指定する場合は、左下にあるカレンダーから日付を選択し、ダブルクリックで再生を開始します。

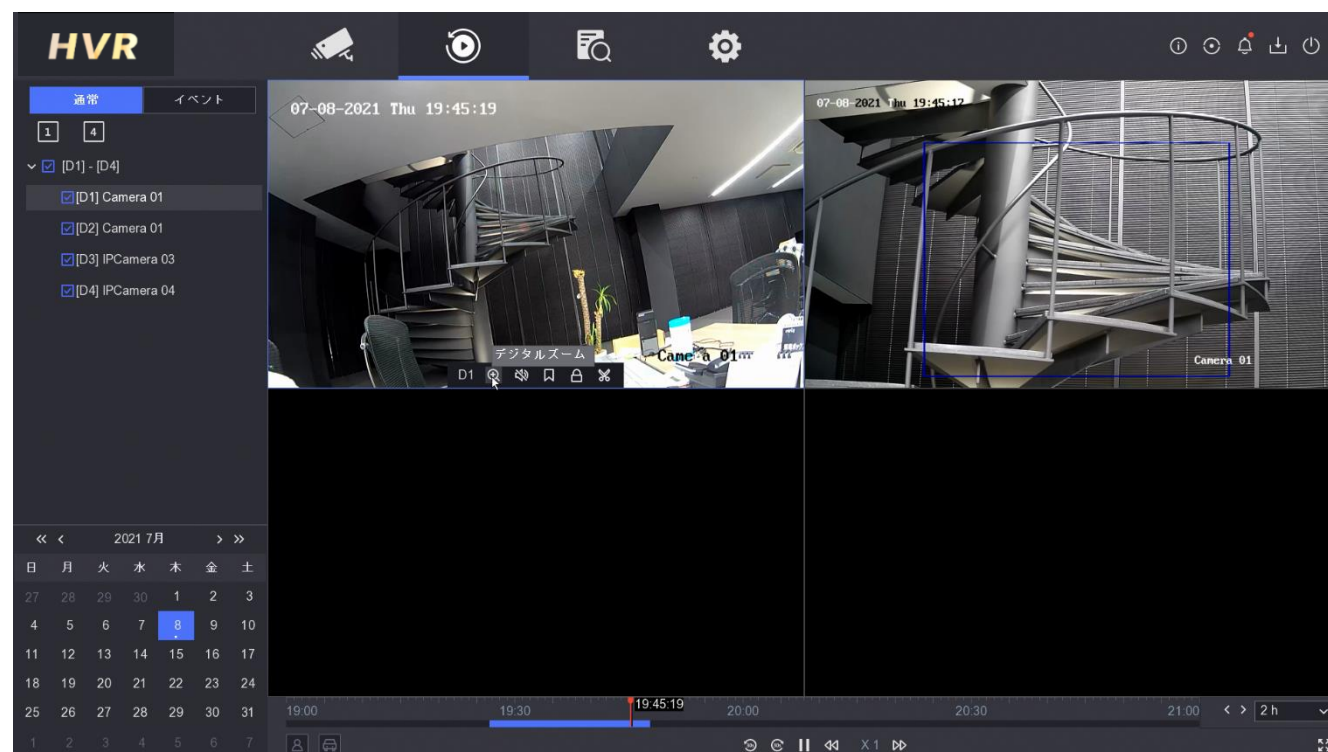


ボタン	操作	ボタン	操作
	30秒前へ戻る		スロー再生
	30秒後に進む		現在の再生速度
	再生の開始		倍速再生
	青色のバーは記録映像。赤色のバーはイベント映像		

デジタルズーム

デジタルズームにより映像を拡大して見ることができます。

- 1.再生画面下部のツールバーからを左クリックしてデジタルズームを開始します。
- 2.拡大を行う箇所にマウスカーソルを合わせて、マウスホイールを動かしてズームを行います。
- 3.デジタルズームを終了する場合は右クリックして終了してください。

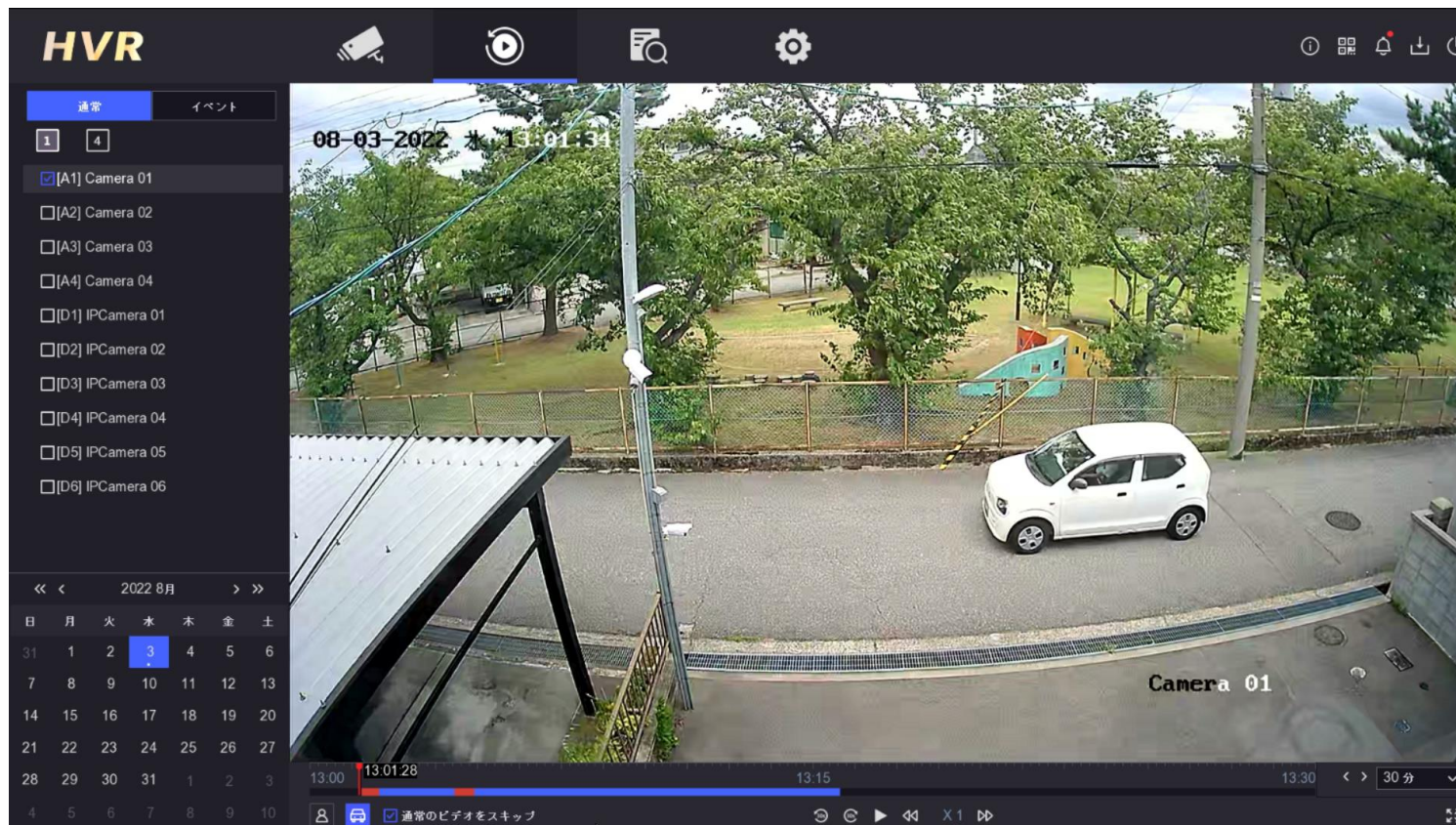


スマート再生

人物・車両のみ画角内で動作検知した映像をピックアップして再生します。

※こちらの機能はイベント設定時(動体検知・ラインクロス検知・エリア侵入検知)に検知対象を人物・車両に選択しているときのみ使用できます。

- 1.再生画面下部のツールバーからピックアップしたい検知対象のアイコン(人物・車両)を左クリックしてチェックをします。
人物or車両もしくは両方をチェックできます。
- 2.チェックを行うと青いタイムバー上に赤いタイムバーが表示されます。
赤いタイムバーが人物もしくは車両が検知された期間を表示しています。
- 3.【通常のビデオをスキップ】にチェックを入れると赤いタイムバーの箇所のみが再生されます。



再生画面下部のツールバー



10.

ターゲット検索

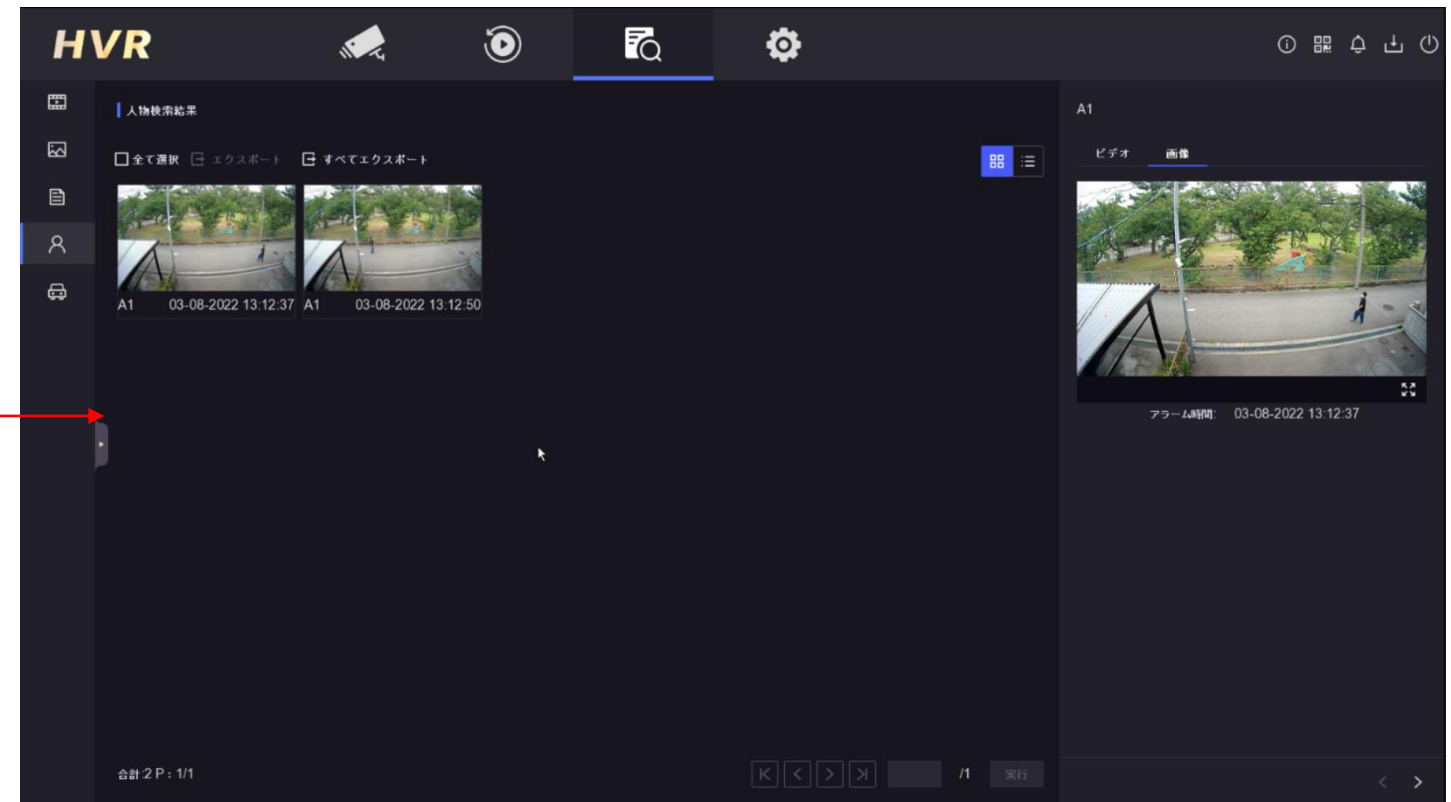
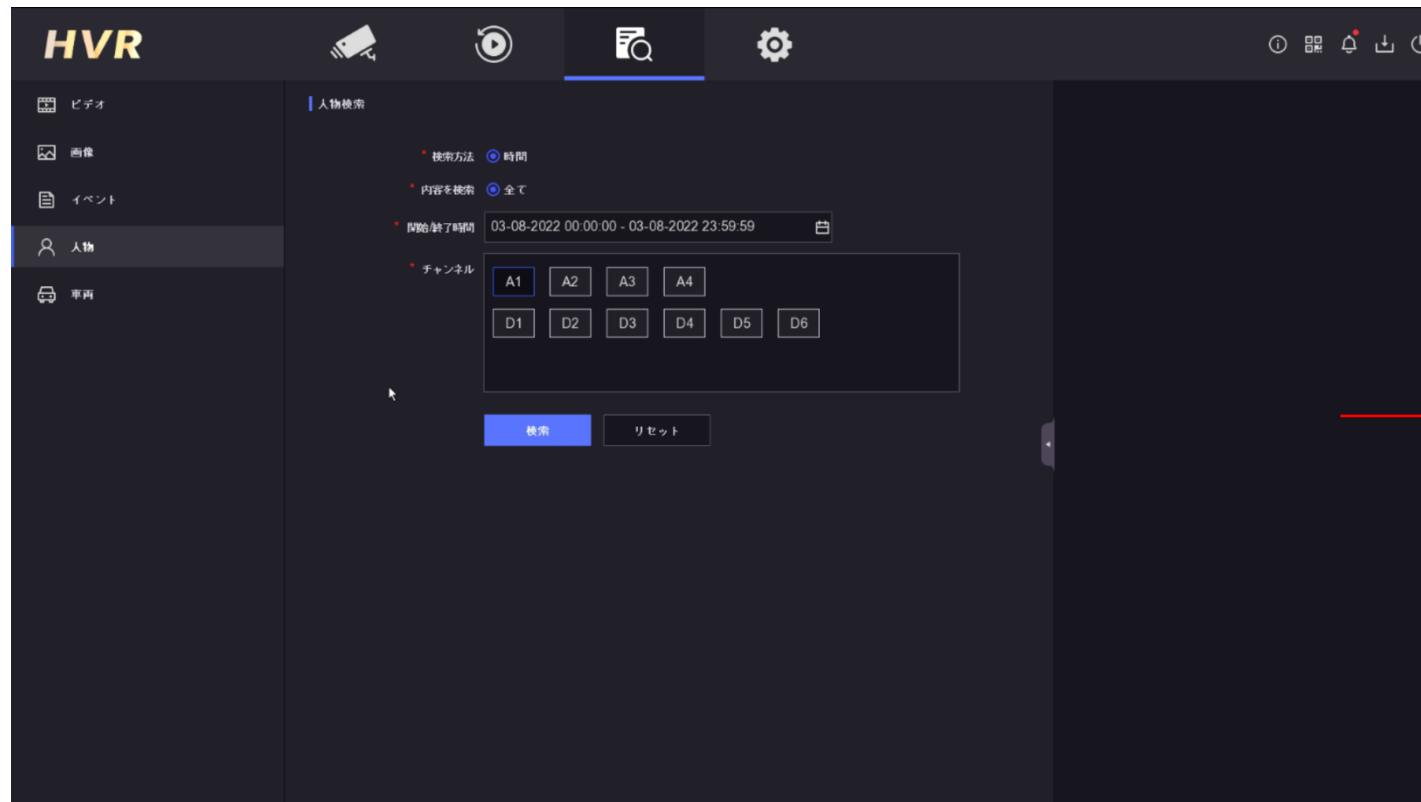
ターゲット検索

人物・車両のそれぞれを検知した時間の映像を検索し、一覧表示できます。

※こちらの機能はイベント設定時(動体検知・ラインクロス検知・エリア侵入検知)に検知対象を人物・車両に選択しているときのみ使用できます。

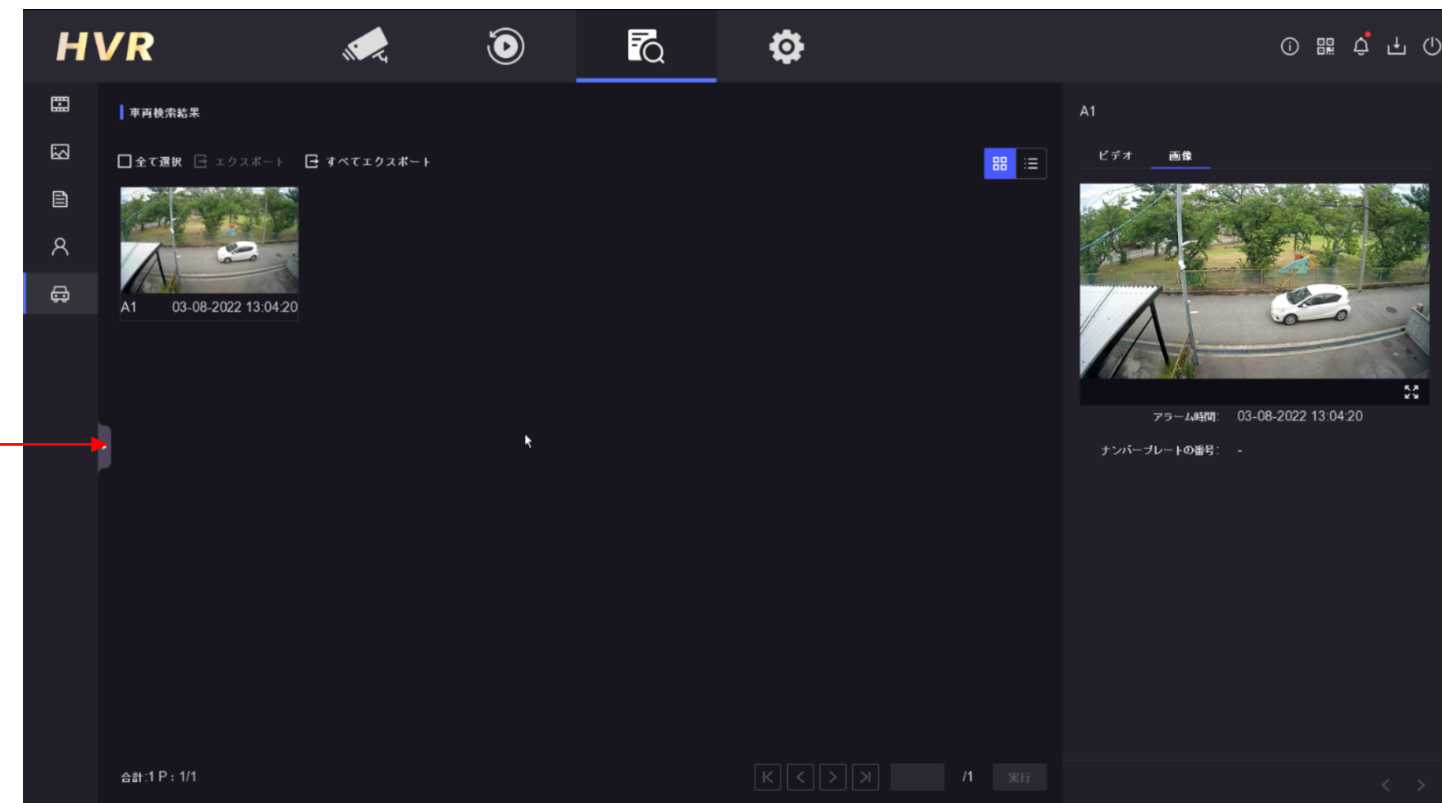
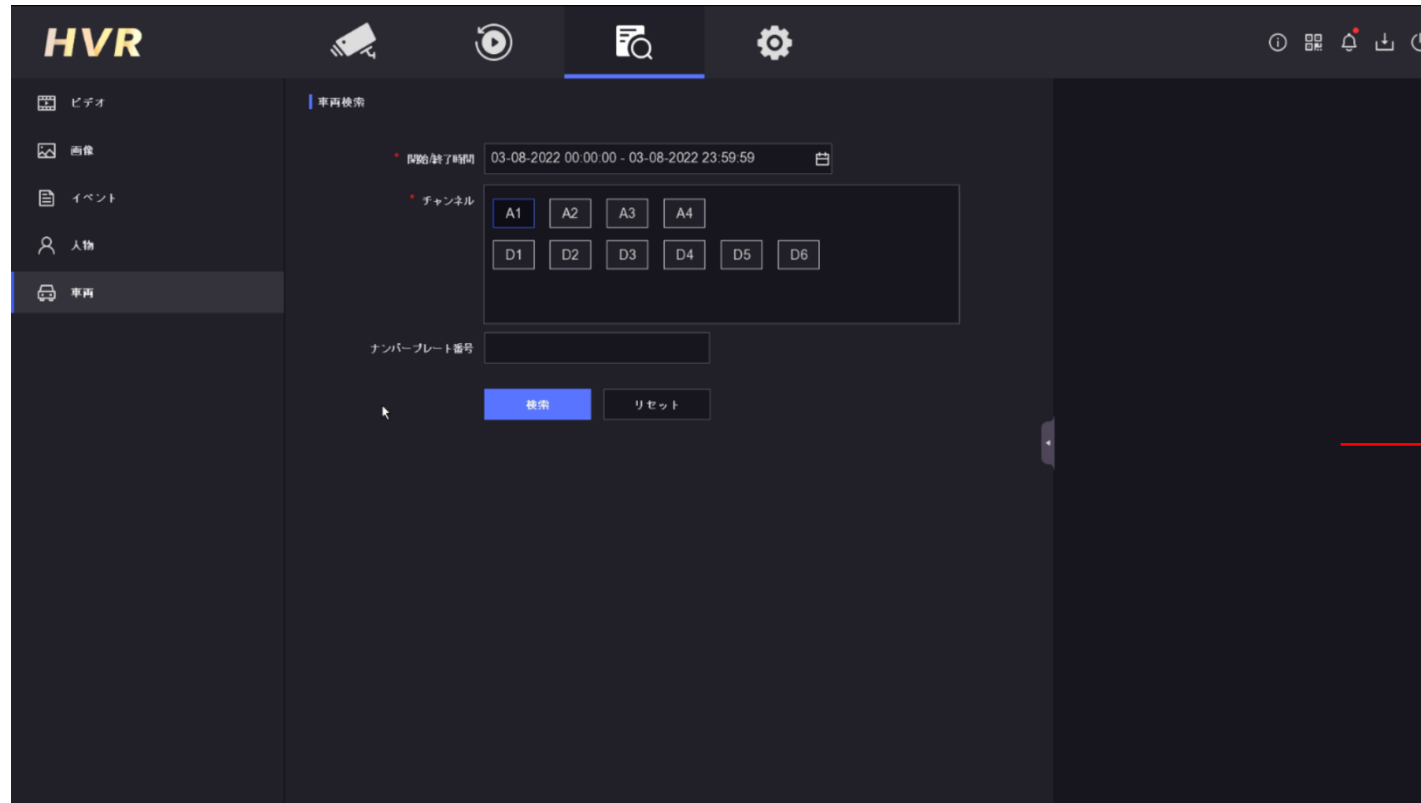
■人物検索

- 1.検索画面の左側の項目から人物を選択します。
- 2.人物検索内の検索条件(日時・チャンネル)を指定して検索を左クリックします。
- 3.検索結果一覧と右側に選択した映像の画像とビデオを再生できます。



■ 車両検索



1. 検索画面の左側の項目から車両を選択します。
2. 車両検索内の検索条件(日時・チャンネル)を指定して検索を左クリックします。
3. 検索結果一覧と右側に選択した映像の画像とビデオを再生できます。

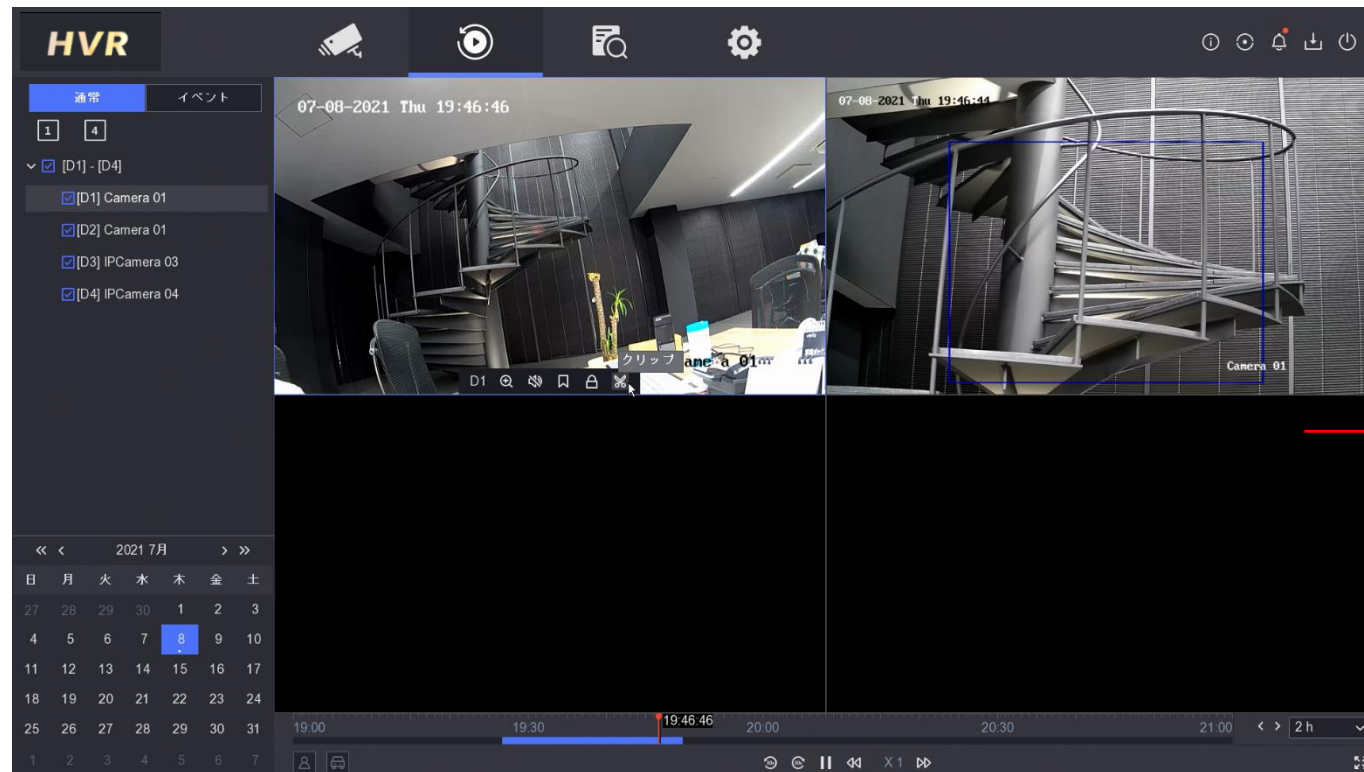


11. 録画映像のバックアップ

バックアップ手順1(クリップ編)

録画した映像を、再生画面からそのままUSBメモリーへバックアップを行います。

- 1.レコーダーのUSBポートにUSBメモリーを差し込みます。(USBポートはレコーダーの全面、背面にそれぞれ1つずつあります。)
- 2.メニューから  を左クリックして再生にアクセスします。
- 3.再生画面下部のツールバーから  を左クリックしてクリップを開始します。
4. [開始時間]と[終了時間]を左クリックして、バックアップする映像の時間を指定します。
- 5.時間の指定後、[保存]をクリックします。



バックアップ手順1(クリップ編)

4.[映像とログ]を選択して[OK]を左クリックしてください。

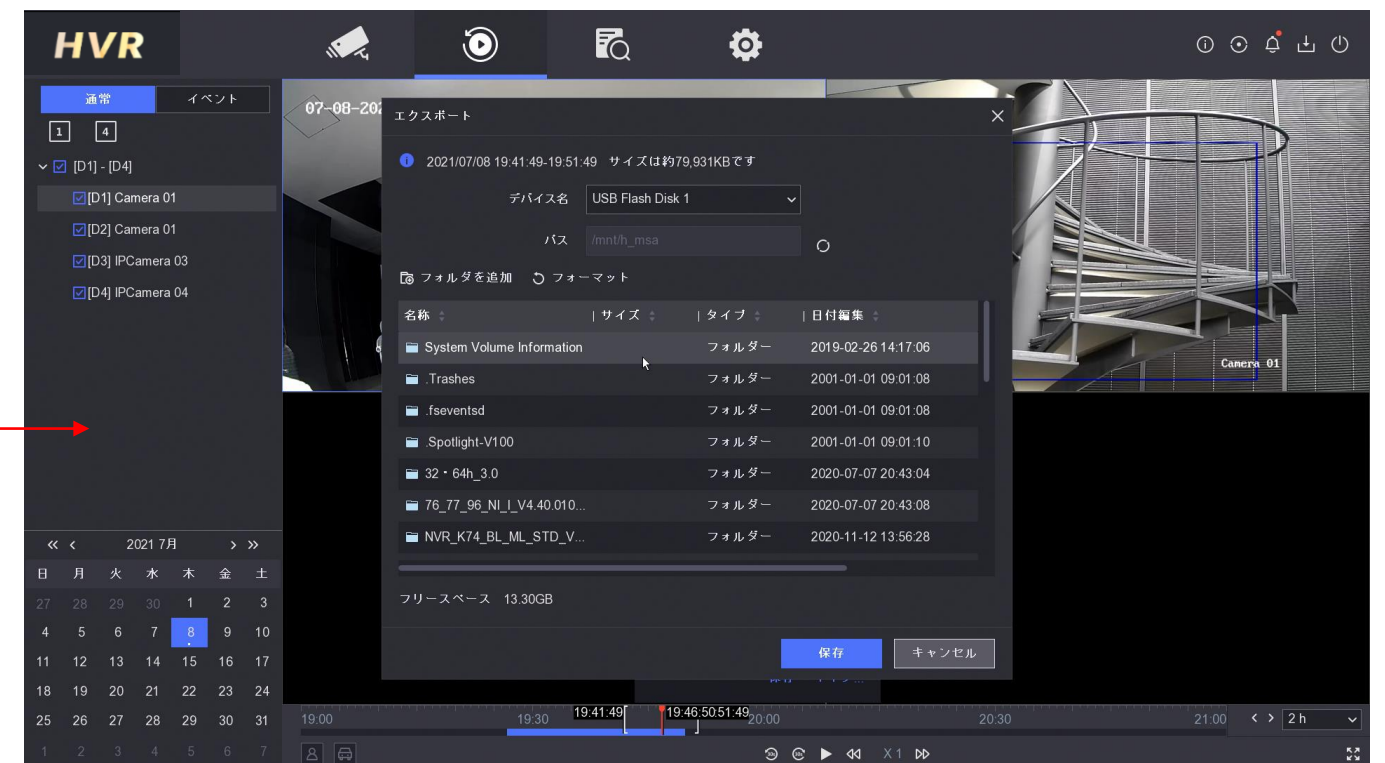
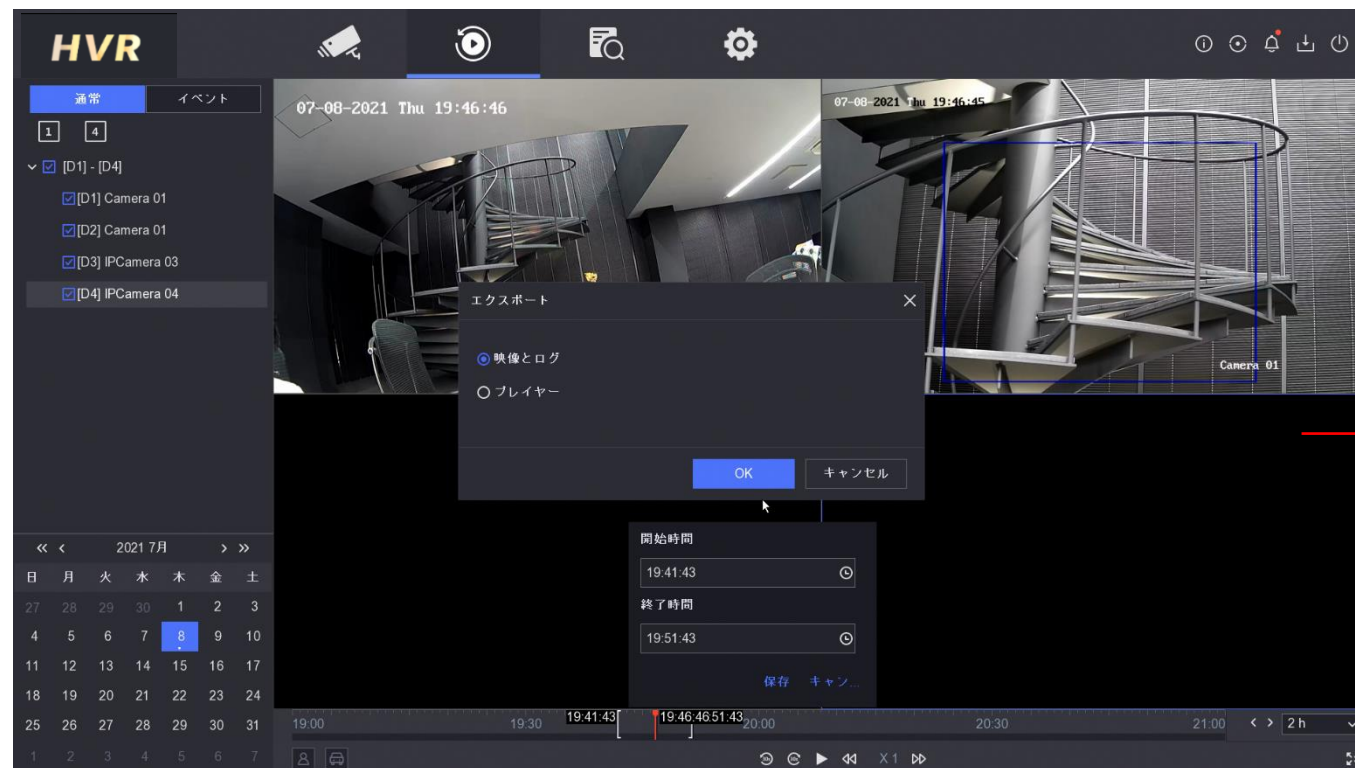
5.エクスポート画面からUSBメモリの保存先を指定します。

USBメモリ内に新しくフォルダを作成する場合は、[フォルダを追加]を左クリックして追加します。

6.[保存]を左クリック録画映像をUSBメモリへ保存します。


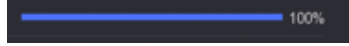
※録画映像のバックアップが上手くいかない場合は、USBのフォーマット、レコーダーの再起動、USBメモリの変更をしてください。

※USBメモリのフォーマットはUSBメモリ内のデータが全て削除されますのでご注意ください。

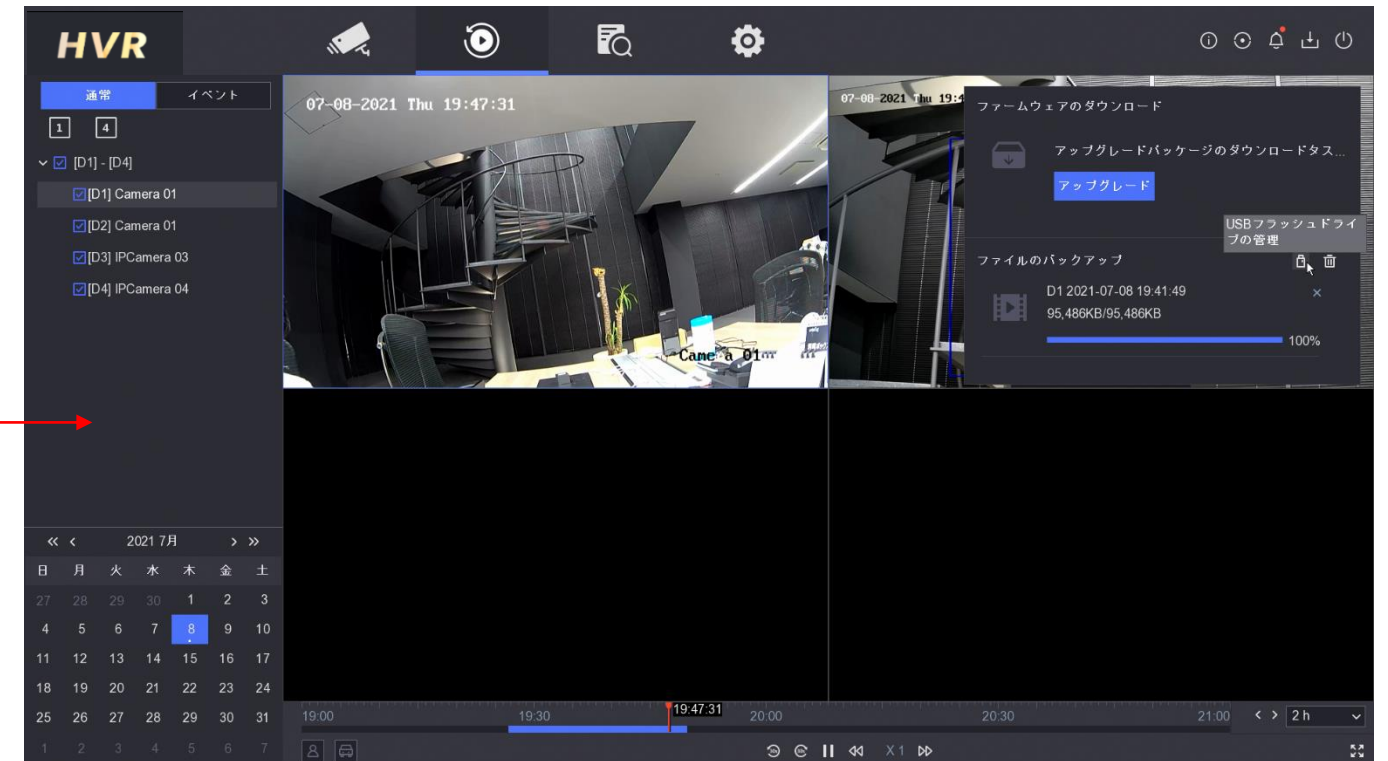
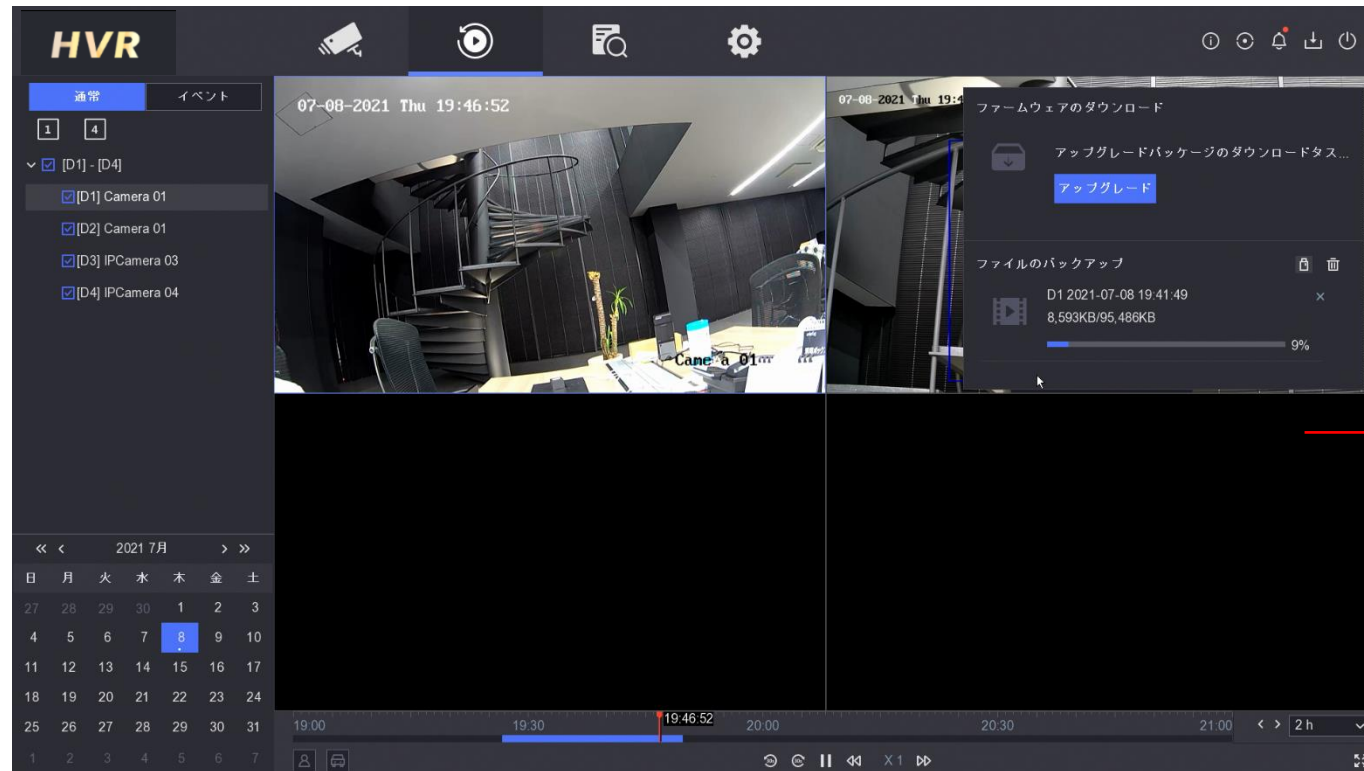


バックアップ手順1(クリップ編)

7.[ファイルのバックアップ]画面が画面右上に表示されます。


バックアップ中の  ゲージが  100%になればバックアップ完了です。

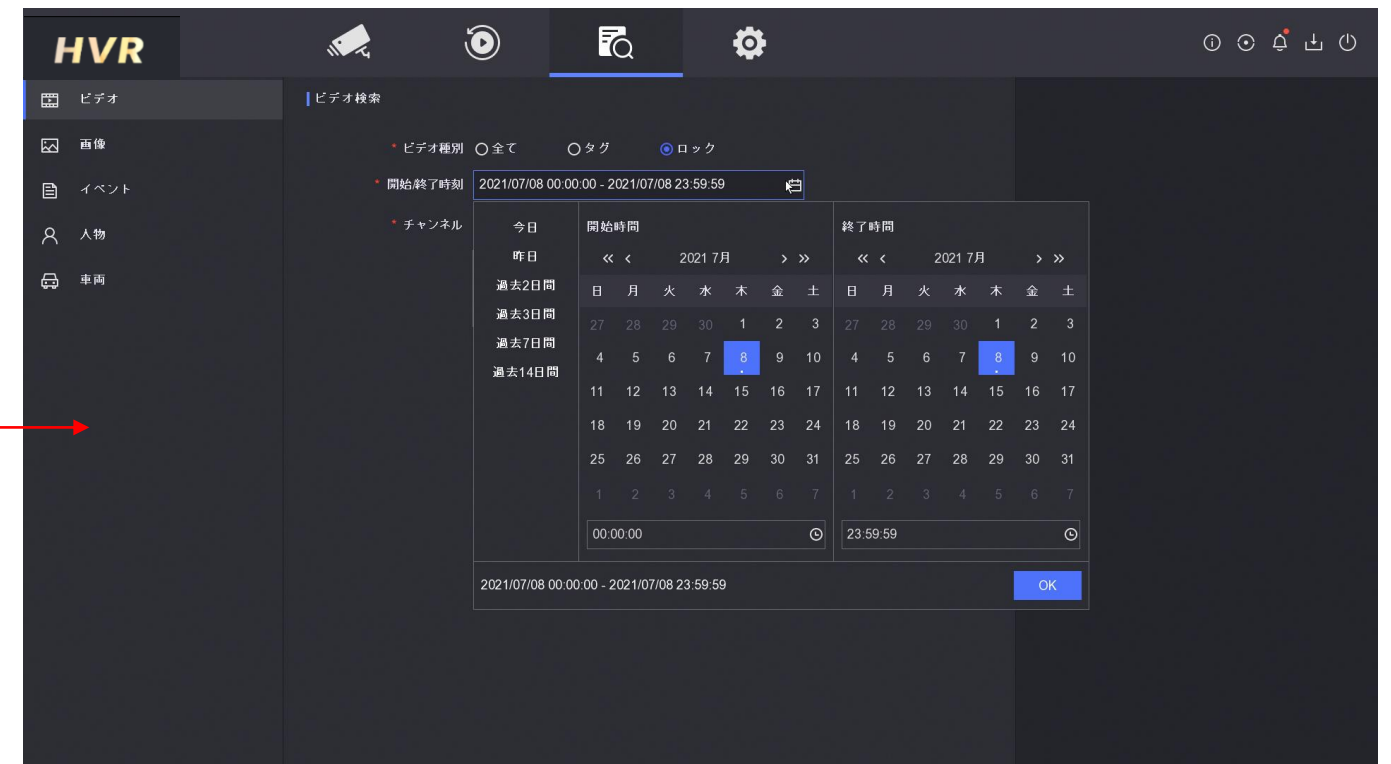
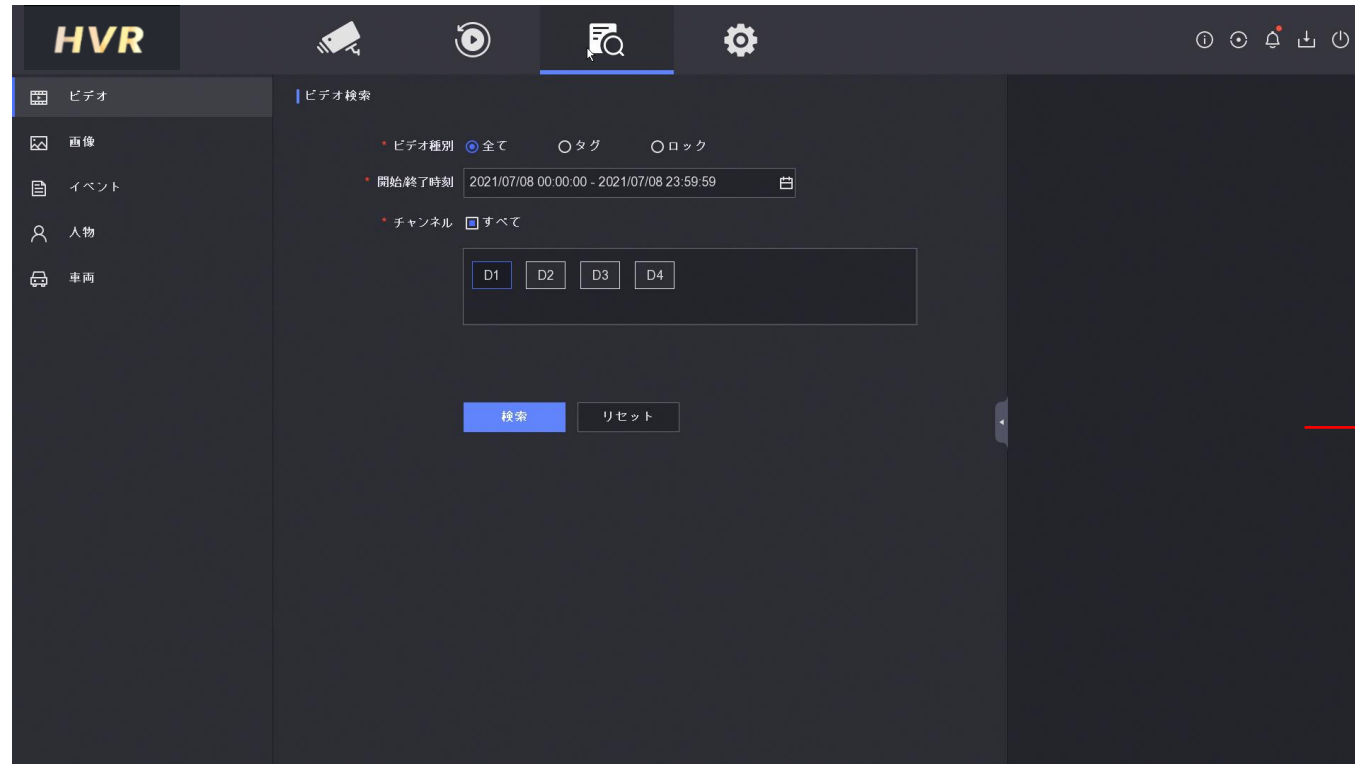
8.USBメモリーをレコーダーから抜いてください。



バックアップ手順2(検索編)

録画した映像の日時、カメラチャンネル等を指定し、USBメモリーへバックアップを行います。

- 1.レコーダーのUSBポートにUSBメモリーを差し込みます。(USBポートはレコーダーの全面、背面にそれぞれ1つずつあります。)
- 2.メニューから  を左クリックして検索にアクセスします。
3. [開始時間]と[終了時間]を左クリックして、バックアップする映像の時間をカレンダーから指定します。
- 4.[チャンネル]からカメラチャンネルを選択します。
- 5.[検索]を左クリックします。



バックアップ手順2(検索編)

6. 検索結果からバックアップを行うファイルのチェックボックスにチェックを入れて[エクスポート]を左クリックします。

7. [映像とログ]を選択して[OK]を左クリックしてください。

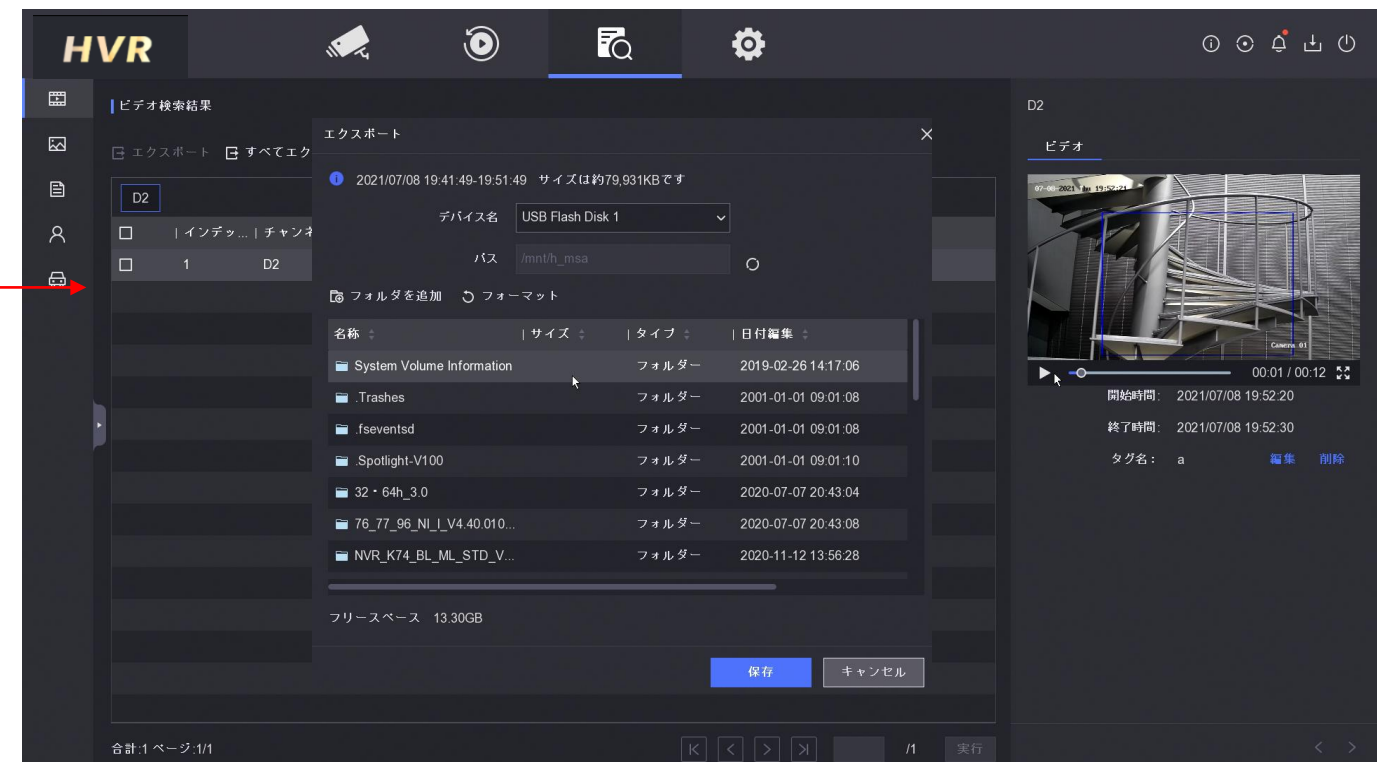
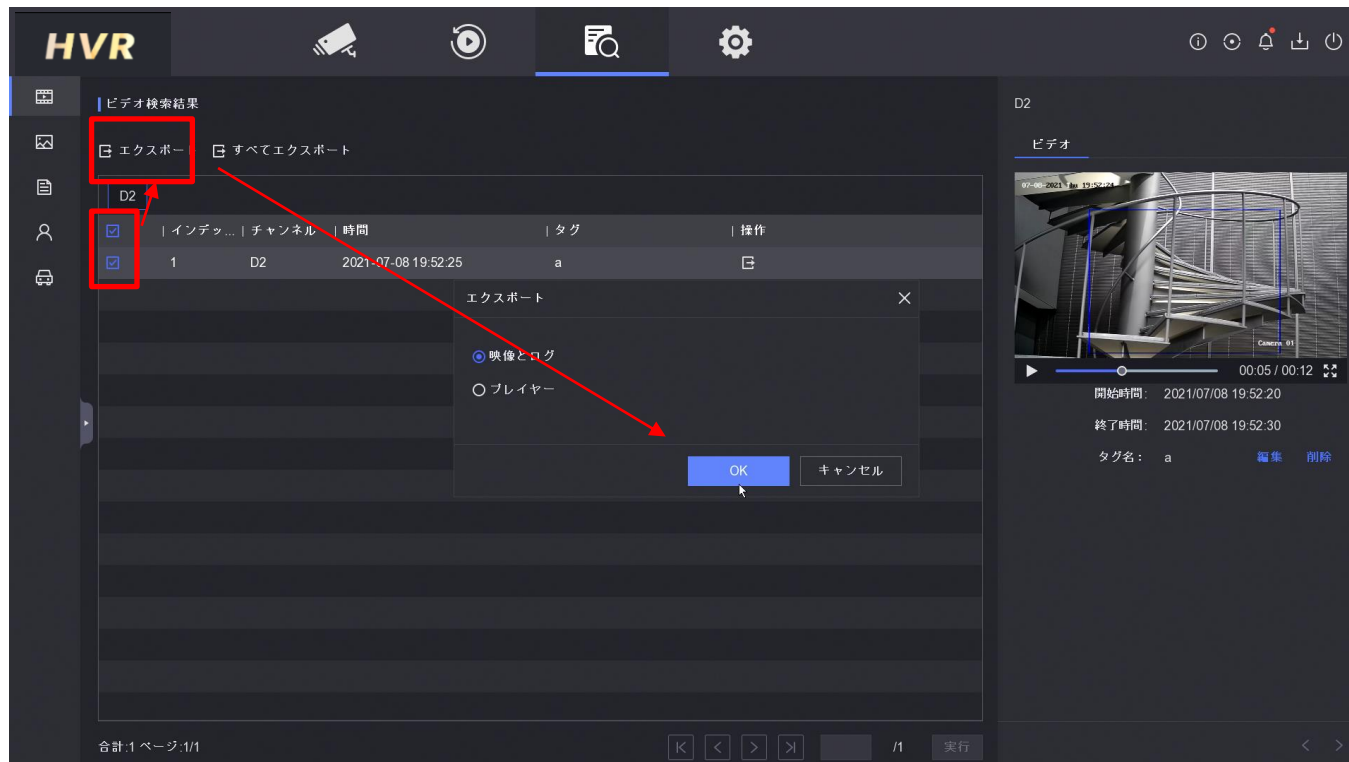
8. エクスポート画面からUSBメモリの保存先を指定します。

USBメモリ内に新しくフォルダを作成する場合は、[フォルダを追加]を左クリックして追加します。

9. [保存]を左クリック録画映像をUSBメモリへ保存します。


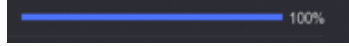
※録画映像のバックアップが上手くいかない場合は、USBのフォーマット、レコーダーの再起動、USBメモリの変更をしてください。

※USBメモリのフォーマットはUSBメモリ内のデータが全て削除されますのでご注意ください。

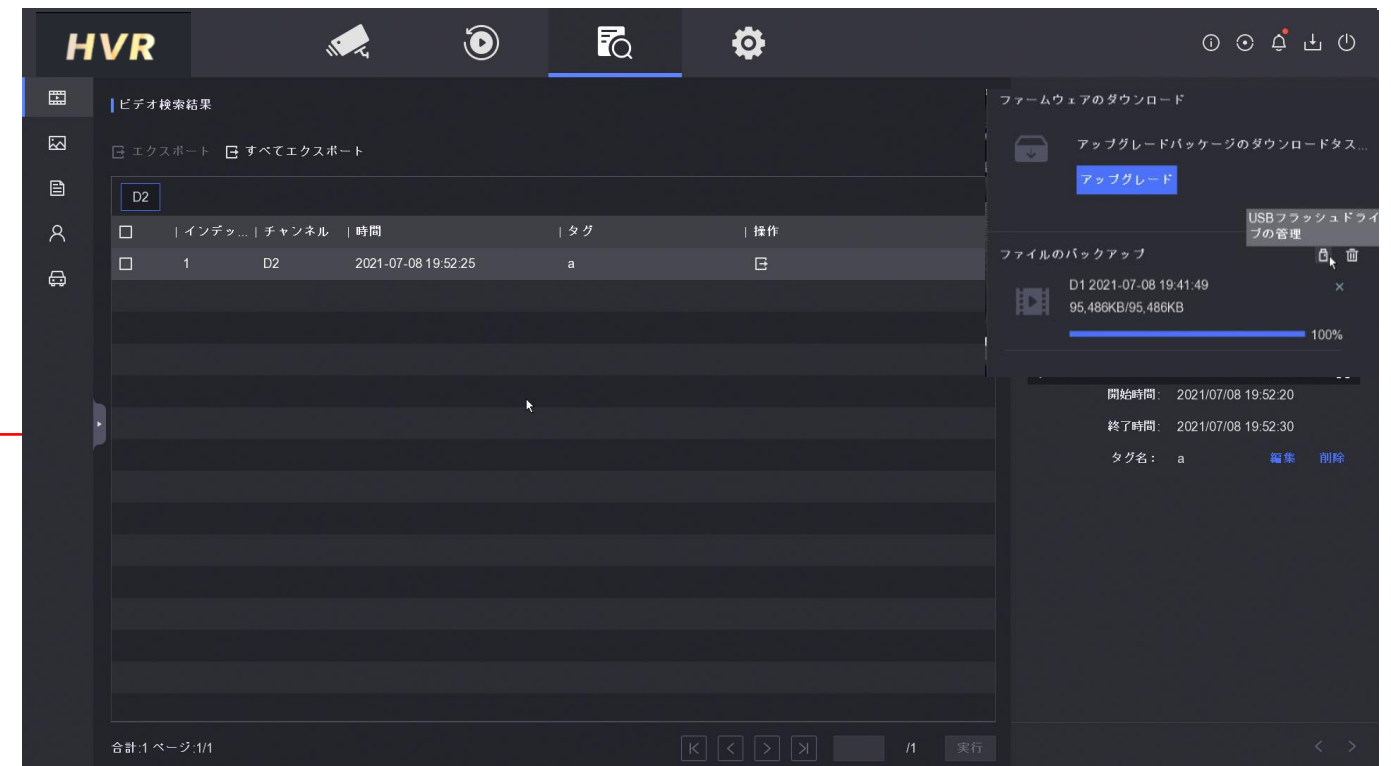
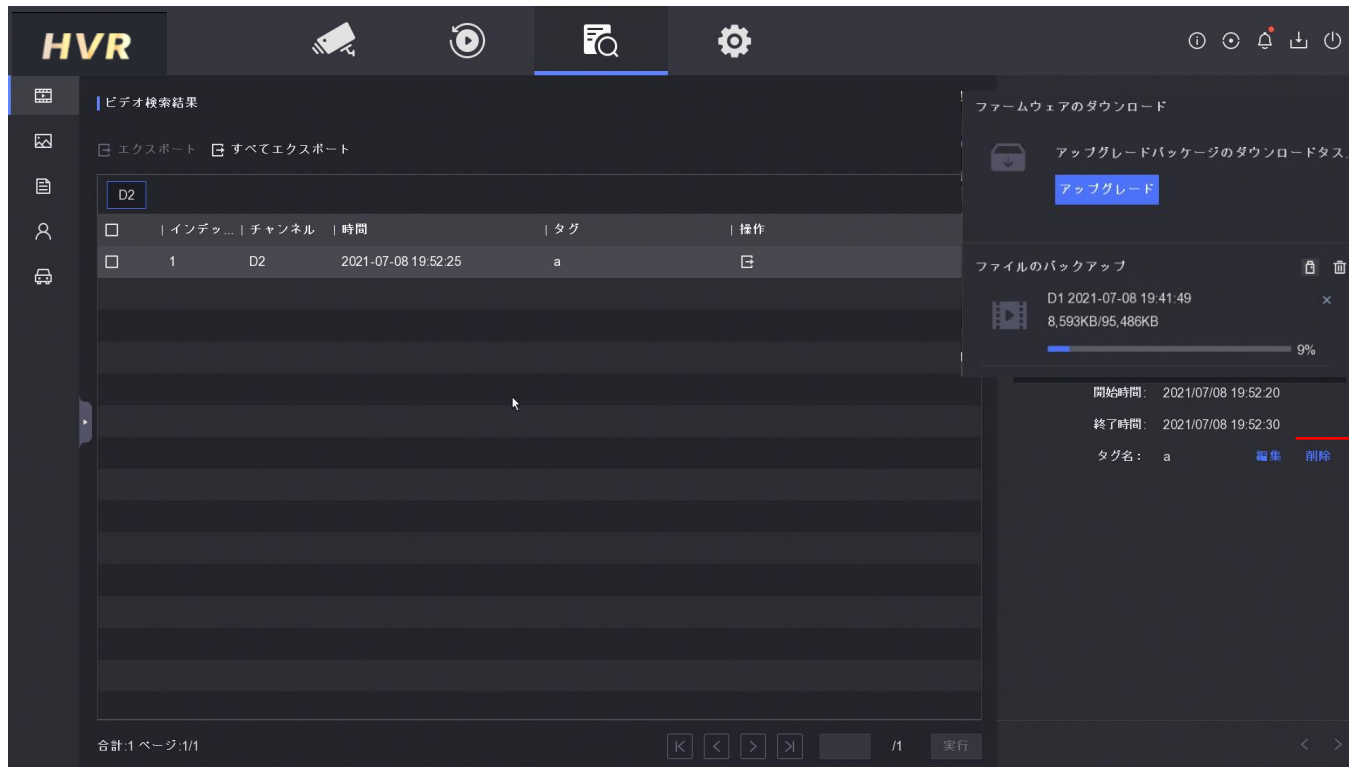


バックアップ手順2(検索編)

10.[ファイルのバックアップ]画面が画面右上に表示されます。

バックアップ中の  ゲージが  100%になればバックアップ完了です。

11.USBメモリーをレコーダーから抜いてください。




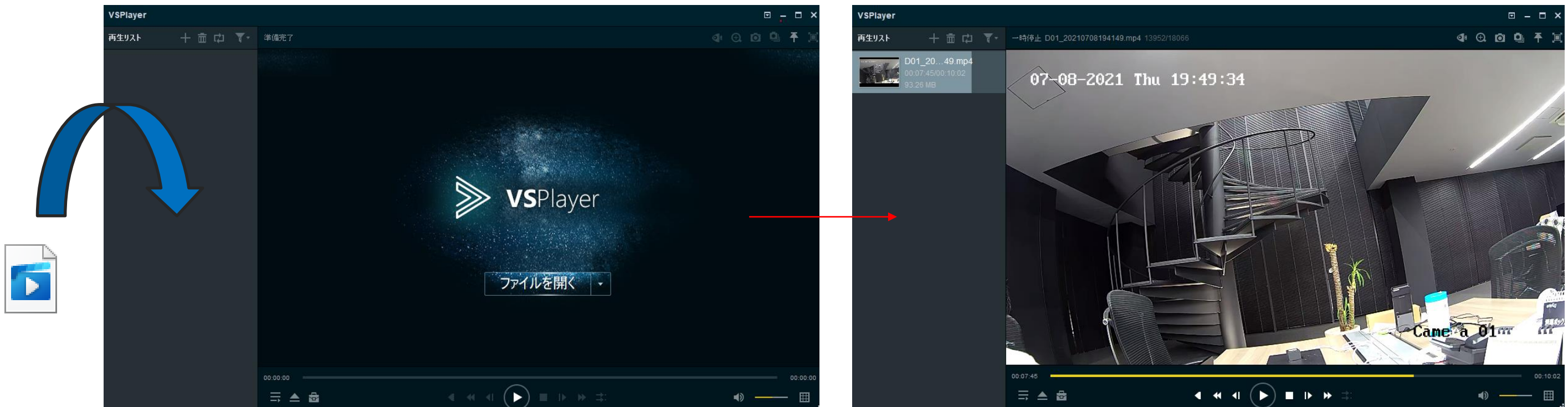
バックアップした映像の確認

1. <https://hik.dss.co.jp/support/download>のリンクから、動画再生ソフト[VSPlayer]をダウンロードします。
※Windows Media Playerでの再生はできません。

動画再生ソフト

VSPlayer (V7.3.0)

2. USBメモリーをPCへ差し込みます。
3. パソコンにインストールしたVSPlayerを起動します。
4. バックアップデータをVSPlayerに直接ドラッグ & ドロップで入れます。
5. 再生をクリックして再生を開始します。





12.

Hik-Connect設定

Hik-Connectの有効

Hik-Connectを有効にして遠隔地でもレコーダーの映像が確認できるように設定します。

- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>ネットワーク>Hik-Connectにアクセスします。
2.  [有効化]のアイコンを左クリックして有効にします。
- 3.利用規約の画面表示後、[サービス規約～同意しました]にチェックを入れて[OK]を左クリックします。
- 4.[接続ステータス]がオンラインになれば設定完了です。
- 5.スマートフォンでアプリを起動し、QRコードを読み取ってデバイス登録を開始してください。

※オンラインにならない場合はレコーダーとルーターの接続の確認、ページを参考にデフォルトゲートウェイ・DNSサーバーのアドレスが入力されているか確認してください。

